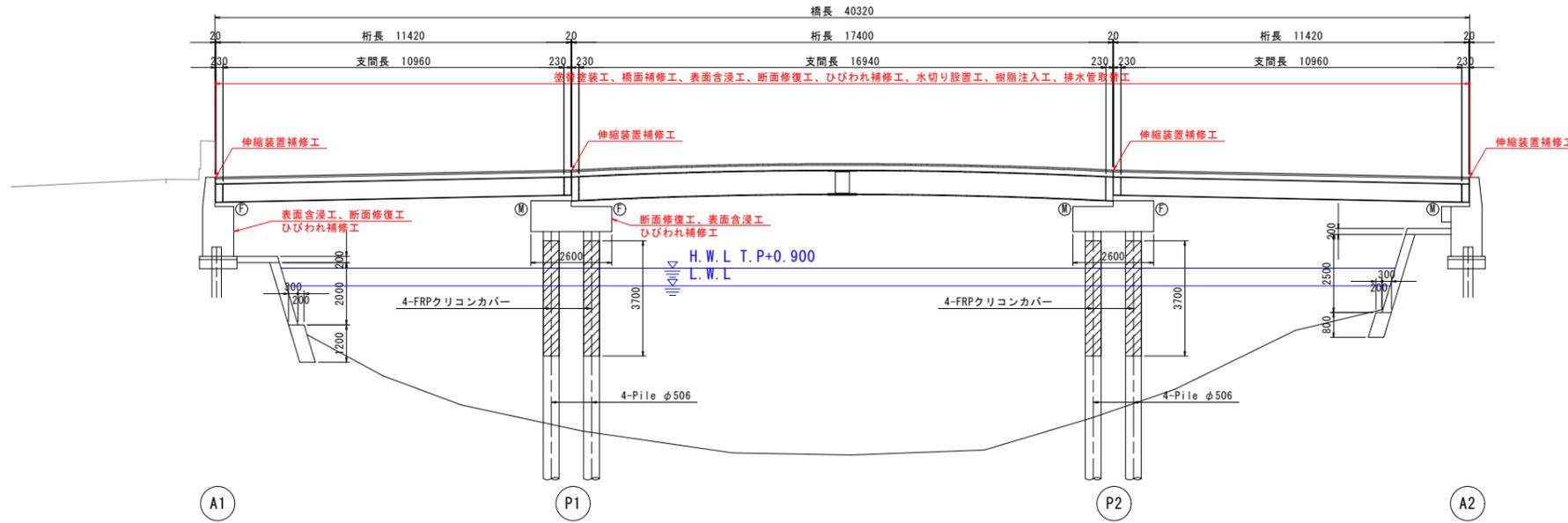


# 補修一般図 S=1:200

至 左岸

## 側面図

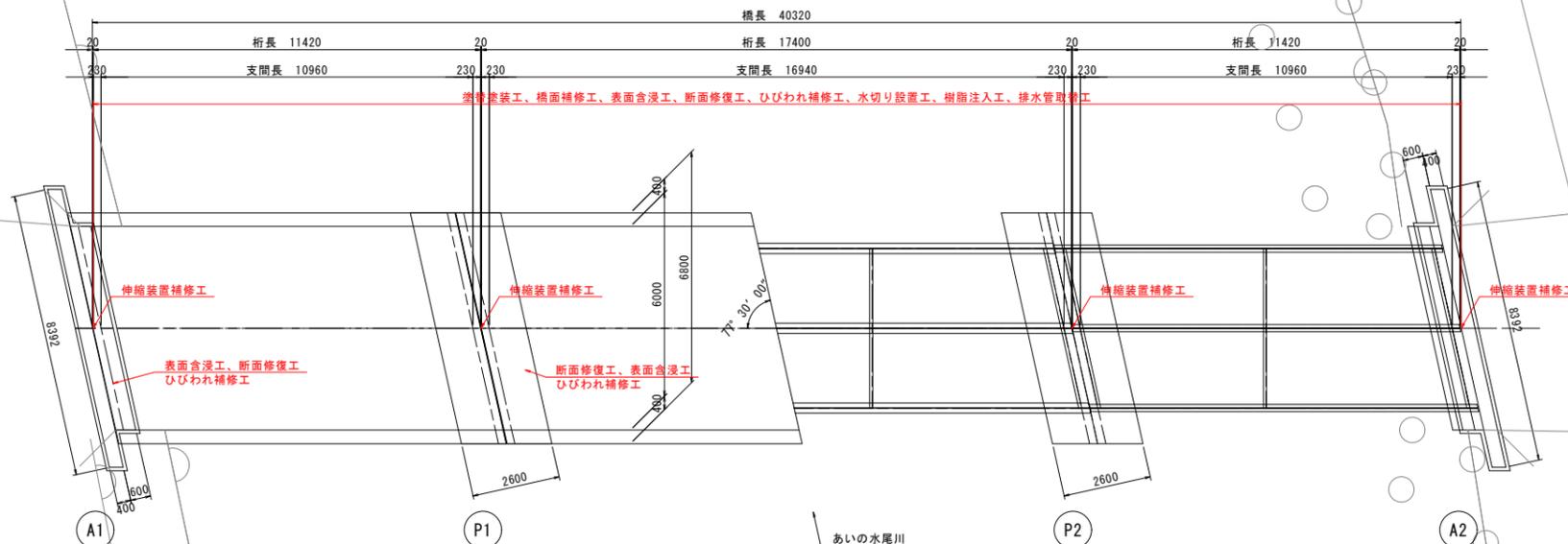
至 右岸



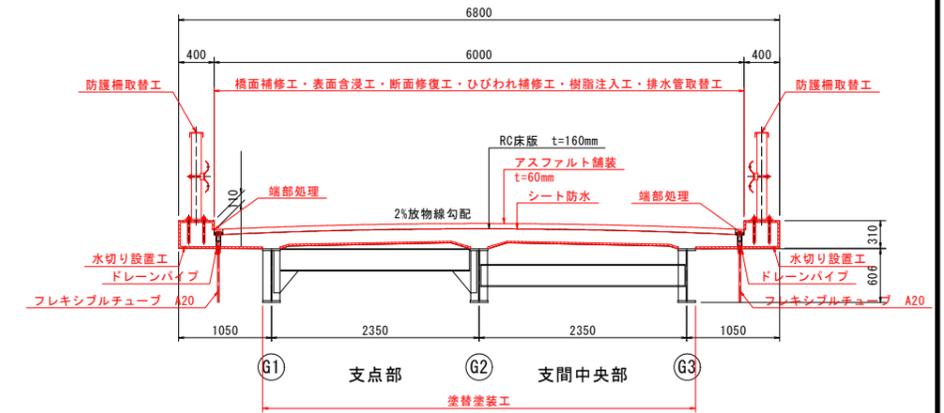
至 左岸

## 平面図

至 右岸



## 断面図 S=1:80



### 【橋梁諸元】

項目	諸元	上部工形式	鋼溶接橋 1桁(合成)
橋梁名称	文化橋	下部工形式	逆T式橋台、パイルベント橋脚
所在地	(自) 徳島県鳴門市鳴門町高島中島	基礎工形式	鋼管杭
	(至) 徳島県鳴門市鳴門町高島中島	設計荷重	TL-14
路線名	文化橋線	適用示方書	-
管轄	徳島県鳴門市	架設年度	1963年(推定)(架設後53年経過)
橋長	40.30m	交差物件	あいの水尾川
径間数	3径間	添架物	水道管(撤去予定)
幅員	全幅: 6.80m、有効幅員: 6.00m	緊急輸送路の指定	無し
	地覆0.400m+車道3.00+車道3.00+地覆0.400m	補修履歴	2014年: 定期点検
		(点検履歴)	2019年: 定期点検

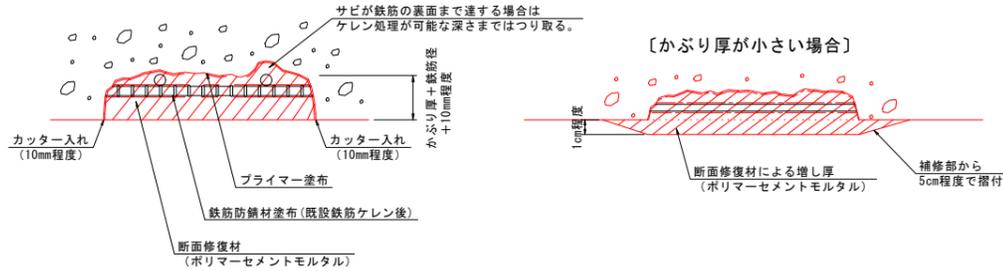
### 【補修項目】

工法	部材	規格	単位	数量	備考
塗替塗装工	上部工	Rc-II(塗膜剥離剤)	m <sup>2</sup>	161.8	
防護柵取替工	防護柵	B種	m	40.3	
橋面補修工	舗装	現況(コンクリート舗装)→新設(アスファルト舗装)	m <sup>2</sup>	228.5	
伸縮装置取替工	伸縮装置	プロフジョイントCDx同等品以上	m	24.59	
断面修復工	床版		m <sup>3</sup>	1.14	
ひびわれ注入工	上・下部工		m	41.05	
表面含浸工	上・下部工		m <sup>2</sup>	214.9	
水切り設置工	床版		m	40.2	
樹脂注入工	上部工		m	31.5	
排水管取替工	上部工	TSステンレス排水管同等品以上	m	3.6	

図面番号	第 1 号	図面総数	全 17 葉
工事名称	文化橋橋梁補修工事		
図名	補修一般図		
製作年月	令和 4 年 6 月	所属年度	令和 4 年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

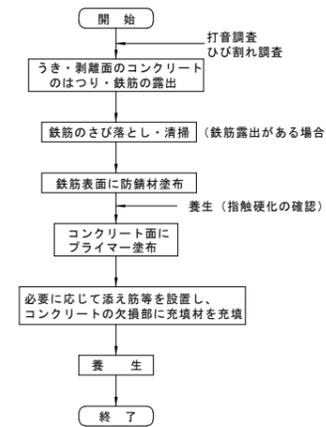
# 補修工共通詳細図

## 断面修復工詳細図

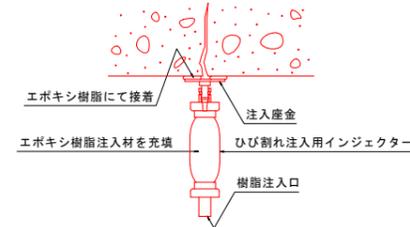


- ※ 使用する材料の仕様に基づいて施工すること。
- ※ 補修部縁端は、フェザーエッジが生じないようにカッターで切れ込みを入れること。
- ※ 鉄筋のかぶり厚が薄い場合は、ポリマーセメントモルタルで10mm以上は確保するように盛って盛り付ける形で断面修復を行うこと。施工時の番線等の残鉄は可能な限り撤去して断面修復すること。
- ※ はつきり深さは適宜調整するものとし、脆弱部は完全に除去して充填を行うこと。
- ※ 鉄筋がある場合は、既設鉄筋の背面、既設部材の粗骨材寸法程度まで除去する。(10~20mm程度)
- ※ 豆板部で粗骨材が露出している部分においては脆弱部ははつきり取り、健全部を露出してポリマーセメントモルタル等を塗布や充填して復旧すること。
- ※ はつきりを行い、鉄筋が確認された場合は錆を除去した後、鉄筋防錆材を塗布すること。

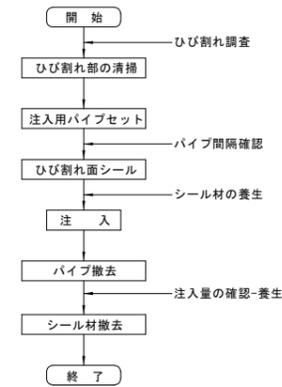
### 〔断面修復工法の施工要領〕



## ひびわれ注入工詳細図



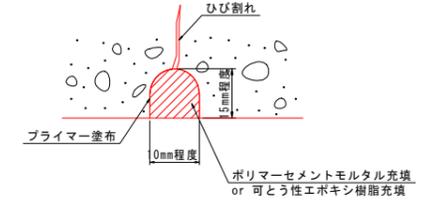
### 〔ひび割れ注入工法の施工要領〕



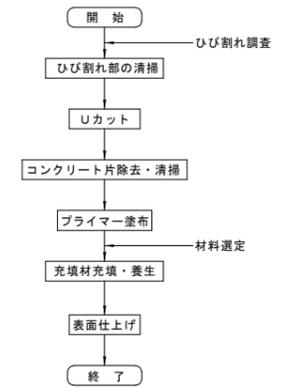
- 注) 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
- 注) 規格は、エポキシ樹脂注入材 1種(下部工)、3種(上部工)同等品を推奨とする。
- 注) 基本的にひび割れ幅0.2~1.0mm以下を対象にひびわれ注入による補修とする。
- 注) 遊離石灰部は研削して状態を見極めて、補修すること。
- 注) 損傷状況により補修工法に変更が生じる場合は、監督員と協議の上、最終決定すること。

## ひびわれ充填工法詳細図

(Uカット工法)



### 〔Uカット工法の施工要領〕



- 注) 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
- 注) 充填材は、ポリマーセメントモルタルとする。
- 注) 基本的にひび割れ幅1.0mm以上及び遊離石灰等で注入が困難な箇所を対象とする。
- 注) 遊離石灰部は研削して状態を見極めて、補修の必要性を判断すること。
- 注) 損傷状況により補修工法に変更が生じる場合は、監督員と協議の上、最終決定すること。

図面番号	第 2 号	図面総数	全 17 葉
工事名称	文化橋橋梁補修工事		
図名	補修工共通詳細図		
製作年月	令和 4 年 6 月	所属年度	令和 4 年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

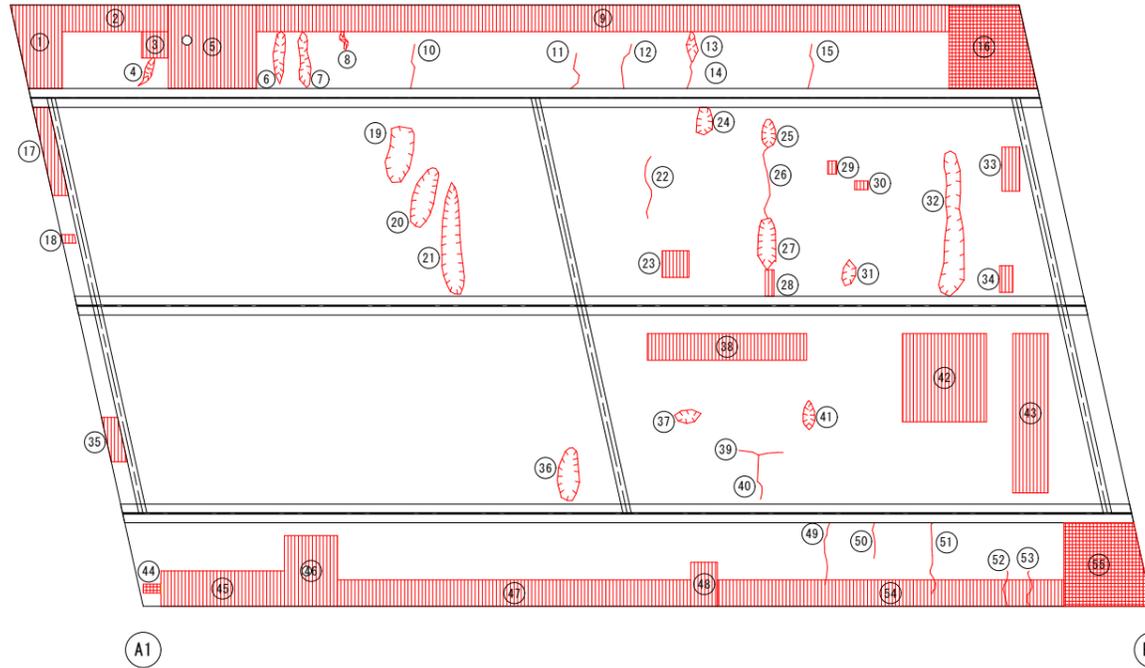
# 上部工補修詳細図(その1) S=1:80

## 第1径間

### 床版下面

左岸

右岸



ひびわれ延長(注入工)

部材	No.	種別	幅 W 【mm】	延長 L 【mm】
床版0101	10	床版ひびわれ	0.2	500
床版0101	11	床版ひびわれ	0.2	400
床版0101	12	床版ひびわれ	0.2	500
床版0101	14	床版ひびわれ	0.2	300
床版0101	15	床版ひびわれ	0.2	500
床版0202	22	床版ひびわれ	0.2	700
床版0202	26	床版ひびわれ	0.2	800
床版0302	39	床版ひびわれ	0.2	500
床版0302	40	床版ひびわれ	0.2	500
床版0401	49	床版ひびわれ	0.2	700
床版0401	50	床版ひびわれ	0.2	400
床版0401	51	床版ひびわれ	0.2	800
床版0401	52	床版ひびわれ	0.2	400
床版0401	53	床版ひびわれ	0.2	400

断面修復面積(左官工)

部材	No.	種別	幅 W 【mm】	延長 L 【mm】	深さ t 【mm】	面積 A 【m <sup>2</sup> 】	体積 V 【m <sup>3</sup> 】
床版0101	1	鉄筋露出	800	950	50	0.7600	0.0380
床版0101	2	鉄筋露出	1,200	300	50	0.3600	0.0180
床版0101	3	鉄筋露出	300	300	50	0.0900	0.0045
床版0101	5	鉄筋露出	1,000	950	50	0.9500	0.0475
床版0101	9	鉄筋露出	7,850	300	50	2.3550	0.1178
床版0101	16	うき	1,000	950	50	0.9500	0.0475
床版0201	17	鉄筋露出	200	1,000	50	0.2000	0.0100
床版0201	18	鉄筋露出	50	100	50	0.0050	0.0003
床版0202	23	鉄筋露出	300	300	50	0.0900	0.0045
床版0202	28	鉄筋露出	100	300	50	0.0300	0.0015
床版0202	29	鉄筋露出	100	150	50	0.0150	0.0008
床版0202	30	鉄筋露出	150	100	50	0.0150	0.0008
床版0202	33	鉄筋露出	200	500	50	0.1000	0.0050
床版0202	34	鉄筋露出	150	300	50	0.0450	0.0023
床版0301	35	鉄筋露出	200	500	50	0.1000	0.0050
床版0302	38	鉄筋露出	1,800	300	50	0.5400	0.0270
床版0302	42	鉄筋露出	950	1,000	50	0.9500	0.0475
床版0302	43	鉄筋露出	400	1,800	50	0.7200	0.0360
床版0401	44	うき	200	100	50	0.0200	0.0010
床版0401	45	鉄筋露出	1,400	400	50	0.5600	0.0280
床版0401	46	鉄筋露出	700	700	50	0.4900	0.0245
床版0401	47	鉄筋露出	4,000	300	50	1.2000	0.0600
床版0401	48	鉄筋露出	300	500	50	0.1500	0.0075
床版0401	54	鉄筋露出	4,000	300	50	1.2000	0.0600
床版0401	55	鉄筋露出	1,000	950	50	0.9500	0.0475

ひびわれ延長(充填工)

部材	No.	種別	幅 W 【mm】	延長 L 【mm】
床版0101	4	遊離石灰	0.2	400
床版0101	6	遊離石灰	0.2	400
床版0101	7	遊離石灰	0.2	400
床版0101	8	遊離石灰	0.2	200
床版0101	13	遊離石灰	0.2	350
床版0201	19	遊離石灰	0.2	650
床版0201	20	遊離石灰	0.2	700
床版0201	21	遊離石灰	0.2	1,300
床版0202	24	遊離石灰	0.2	350
床版0202	25	遊離石灰	0.2	350
床版0202	27	遊離石灰	0.2	600
床版0202	31	遊離石灰	0.2	300
床版0202	32	遊離石灰	0.2	1,650
床版0301	36	遊離石灰	0.2	600
床版0302	37	遊離石灰	0.2	300
床版0302	41	遊離石灰	0.2	350

《補修工法一覧表》

損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	-
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注入工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・豆板	断面修復工

凡 例	図 示
ひびわれ	
うき	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
豆板・空洞	
漏水・滞水	

注) 足場架設後に現地実測の上、数量を確定すること。  
 注) 基本的に0.2mm以上のひび割れを補修対象とする。  
 注) 遊離石灰を伴う箇所は、要調査の上で補修すること。  
 遊離石灰により、注入が困難な場合はUカット工法(もしくはVカット工法)で取り除き、ポリマーセメントモルタル埋戻しによる充填工法に変更し補修すること。

図面番号	第 3 号	図面総数	全 17 葉
工事名称	文化橋橋梁補修工事		
図名	上部工補修詳細図(その1)		
製作年月	令和4年6月	所属年度	令和4年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査

鳴門市 都市建設部 土木課

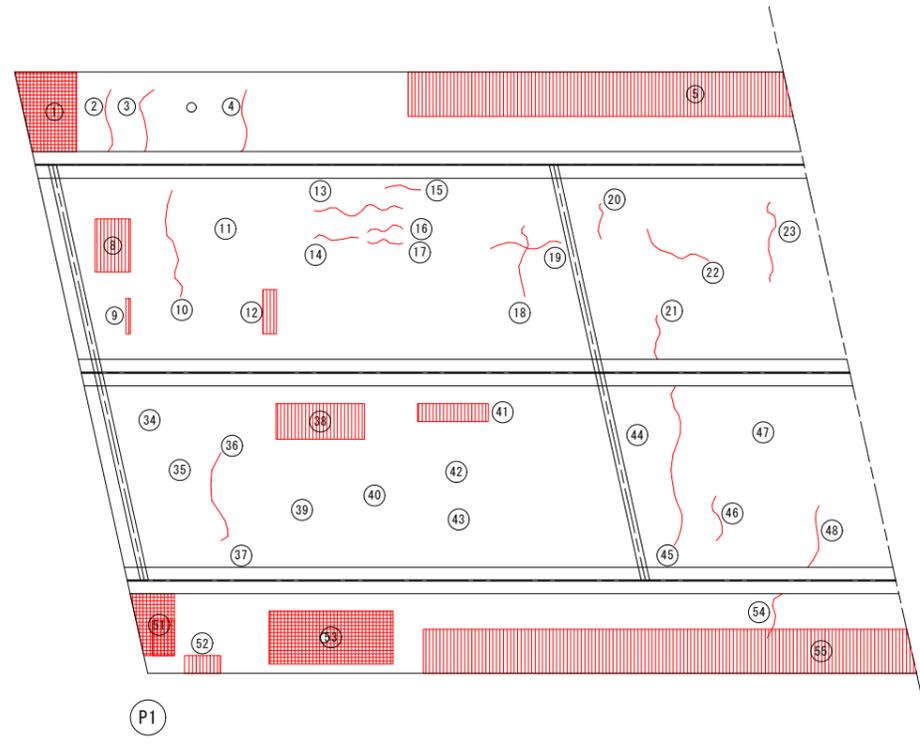
# 上部工補修詳細図(その2) S=1:80

## 第2-1径間

### 床版下面

左岸

右岸



ひびわれ延長(注入工)

部材	No.	種別	幅 W [mm]	延長 L [mm]
床版0101	2	床版ひびわれ	0.2	700
床版0101	3	床版ひびわれ	0.2	700
床版0101	4	床版ひびわれ	0.4	500
床版0201	10	床版ひびわれ	0.2	1,200
床版0201	13	床版ひびわれ	0.2	1,000
床版0201	14	床版ひびわれ	0.2	500
床版0201	15	床版ひびわれ	0.2	400
床版0201	16	床版ひびわれ	0.2	400
床版0201	17	床版ひびわれ	0.2	400
床版0201	18	床版ひびわれ	0.2	800
床版0201	19	床版ひびわれ	0.2	800
床版0202	20	床版ひびわれ	0.2	400
床版0202	21	床版ひびわれ	0.2	500
床版0202	22	床版ひびわれ	0.2	700
床版0202	23	床版ひびわれ	0.2	900
床版0301	36	床版ひびわれ	0.2	1,000
床版0302	45	床版ひびわれ	0.2	1,800
床版0302	46	床版ひびわれ	0.2	500
床版0302	48	床版ひびわれ	0.2	700
床版0401	54	床版ひびわれ	0.3	500

断面修復面積(左官工法)

部材	No.	種別	幅 W [mm]	延長 L [mm]	深さ t [mm]	面積 A [m <sup>2</sup> ]	体積 V [m <sup>3</sup> ]
床版0101	1	うき	700	900	50	0.6300	0.0315
床版0101	5	鉄筋露出	4,300	500	50	2.1500	0.1075
床版0201	8	鉄筋露出	400	600	50	0.2400	0.0120
床版0201	9	鉄筋露出	50	400	50	0.0200	0.0010
床版0201	12	鉄筋露出	150	500	50	0.0750	0.0038
床版0301	38	鉄筋露出	1,000	400	50	0.4000	0.0200
床版0301	41	鉄筋露出	800	200	50	0.1600	0.0080
床版0401	51	うき	500	700	50	0.3500	0.0175
床版0401	52	鉄筋露出	400	200	50	0.0800	0.0040
床版0401	53	うき	1,400	600	50	0.8400	0.0420
床版0401	55	鉄筋露出	5,500	500	50	2.7500	0.1375

ひびわれ延長(充填工)

部材	No.	種別	幅 W [mm]	延長 L [mm]
床版0201	11	遊離石灰	0.2	900
床版0301	34	遊離石灰	0.2	350
床版0301	35	遊離石灰	0.2	1,000
床版0301	37	遊離石灰	0.2	300
床版0301	39	遊離石灰	0.2	650
床版0301	40	遊離石灰	0.2	1,000
床版0301	42	遊離石灰	0.2	350
床版0301	43	遊離石灰	0.2	550
床版0302	44	遊離石灰	0.2	400
床版0302	47	遊離石灰	0.2	500

(補修工法一覧表)

損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	-
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注入工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・豆板	断面修復工

凡例	例
ひびわれ	
うき	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
豆板・空洞	
漏水・滲水	

注) 足場架設後に現地実測の上、数量を確定すること。  
 注) 基本的に0.2mm以上のひび割れを補修対象とする。  
 注) 遊離石灰を伴う箇所は、要調査の上で補修すること。  
 遊離石灰により、注入が困難な場合はUカット工法(もしくはVカット工法)で取り除き、ポリマーセメントモルタル埋戻による充填工法に変更し補修すること。

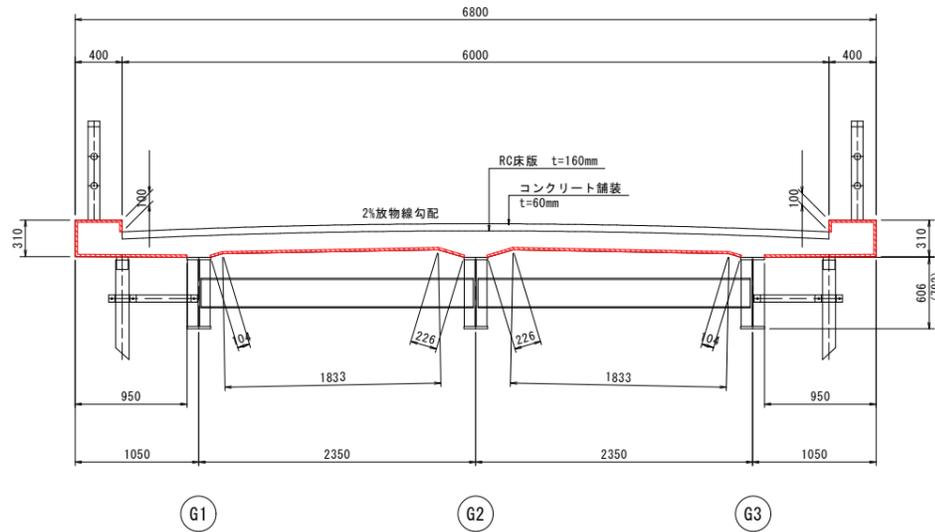
図面番号	第 4 号	図面総数	全 17 葉
工事名称	文化橋橋梁補修工事		
図名	上部工補修詳細図(その2)		
製作年月	令和4年6月	所属年度	令和4年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査

鳴門市 都市建設部 土木課

# 上部工補修詳細図(その3) S=1:60

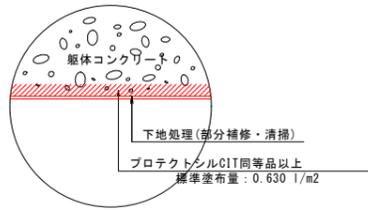
## 表面含浸工

### 断面図



( )内は中央径間の寸法を示す。

## 表面含浸工詳細図



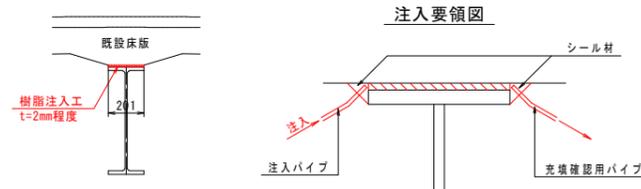
### 施工手順

- はつり(鉄筋まではチップバー)
- はつり(鉄筋背面電動ピック)
- サンドブラストによる除錆(Sa2)
- 鉄筋防錆剤塗布
- プライマー塗布
- 断面修復材充填(ポリマーセメントモルタル)
- プロテクトシルCIT同等品以上塗布(躯体コンクリート) 使用量: 0.630 l/m2

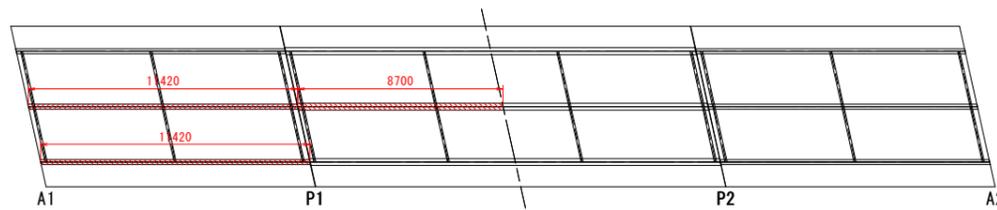
注) 鉄筋腐食抑制効果が認められる材料を使用すること。

## 樹脂注入工

### 断面図 S=1:40

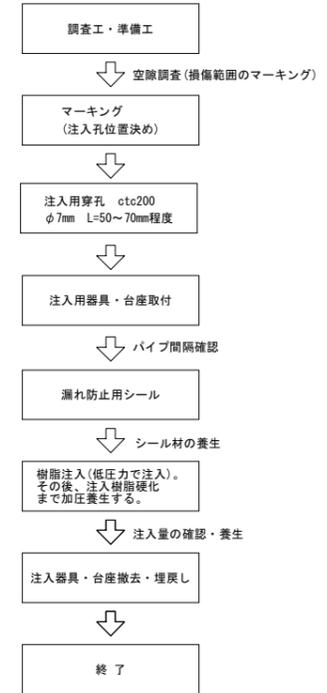


### 位置図 S=1:150

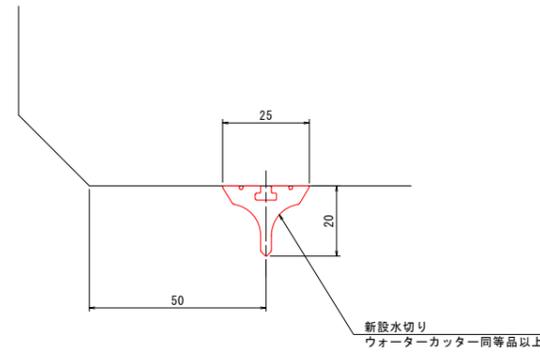


※足場架設後に調査を行い、主桁と床版の隙間がある範囲を確認すること。  
 ※隙間部(空隙部)については、事前に空隙幅や空隙深さ等の調査を行い、補修方法を確定させること。  
 ※隙間部(空隙部)は、エポキシ樹脂を注入して充填する計画とする。

### 樹脂注入工 フロー図



## 水切り詳細図 S=1:2

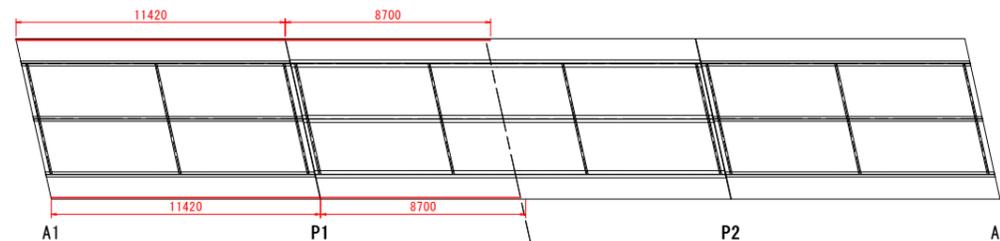


### 施工手順

- 表面処理
- 素地乾燥確認
- 接着剤塗布
- 水切り設置
- 硬化養生

注1) 水切りと床版の接着性、施工性、水切り機能を確保するため、床版の端から50mm程度の余裕しるを確保すること。

## マーク図 S=1:200



### 表面含浸補修工(全体)

箇所	算式	単位	数量
地覆天端	0.400x2	m	0.80
地覆側面	(0.310+0.100)x2	m	0.82
張出床版	0.950x2	m	1.90
中間床版	(0.104+1.833+0.226)x2	m	4.33
小計(周長)	0.80+0.82+1.90+4.33	m	7.85
第1径間 桁長	11.420	m	11.42
第2-1径間 桁端部~支間中央	17.400/2	m	8.70
第2-2径間 桁端部~支間中央	17.400/2	m	8.70
第3径間 桁長	11.420	m	11.42
小計(延長)	11.42+8.70+8.70+11.42	m	40.24
合計 (周長)x(延長)	7.85x40.24	m <sup>2</sup>	315.90

### 今回施工数量(方向別集計)

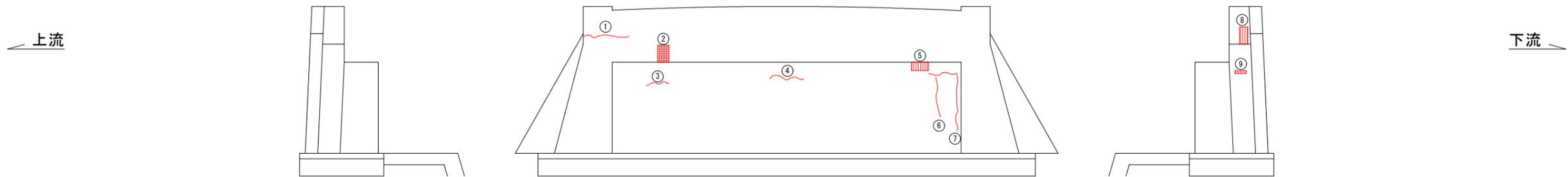
箇所	算式	単位	数量
上面			
第1径間	0.800x11.42	m <sup>2</sup>	9.14
第2-1径間	0.800x8.70	m <sup>2</sup>	6.96
小計	9.14+6.96	m <sup>2</sup>	16.10
側面			
第1径間	0.820x11.42	m <sup>2</sup>	9.36
第2-1径間	0.820x8.70	m <sup>2</sup>	7.13
P1橋脚	18.19	m <sup>2</sup>	18.19
A1橋台	24.14	m <sup>2</sup>	24.14
小計	9.36+7.13+18.19+24.14	m <sup>2</sup>	58.82
下面			
第1径間	(1.90+4.33)x11.42	m <sup>2</sup>	71.15
第2-1径間	(1.90+4.33)x8.7	m <sup>2</sup>	54.20
P1橋脚	14.57	m <sup>2</sup>	14.57
小計	71.15+54.20+14.57	m <sup>2</sup>	139.92
合計		m <sup>2</sup>	214.84

図面番号	第 5 号	図面総数	全 17 葉
工事名称	文化橋橋梁補修工事		
図名	上部工補修詳細図(その3)		
製作年月	令和4年6月	所属年度	令和4年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

# 下部工補修詳細図(その1) S=1:80

## 第1径間

### A1橋台



ひびわれ延長(注入工)

部材	No.	種別	幅 W 【mm】	延長 L 【mm】
橋台[胸壁]0101	1	ひびわれ	0.2	800
橋台[縦壁]0101	3	ひびわれ	0.2	400
橋台[縦壁]0101	4	ひびわれ	0.2	600
橋台[縦壁]0101	6	ひびわれ	0.2	700
橋台[縦壁]0101	7	ひびわれ	0.5	1,500

断面修復面積(左官工法)

部材	No.	種別	幅 W 【mm】	延長 L 【mm】	深さ t 【mm】	面積 A 【m2】	体積 V 【m3】
橋台[胸壁]0101	2	うき	200	300	50	0.0600	0.0030
橋台[縦壁]0101	5	鉄筋露出	300	300	50	0.0900	0.0045
橋台[縦壁]0101	8	鉄筋露出	150	300	50	0.0450	0.0023
橋台[胸壁]0101	9	鉄筋露出	200	50	50	0.0100	0.0005

(補修工法一覧表)

損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	-
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注入工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・豆板	断面修復工

凡例	例
ひびわれ	
うき	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
豆板・空洞	
漏水・滞水	

注) 足場架設後に現地実測の上、数量を確定すること。  
 注) 基本的に0.2mm以上のひび割れを補修対象とする。  
 注) 遊離石灰を伴う箇所は、要調査の上で補修すること。  
 遊離石灰により、注入が困難な場合はUカット工法(もしくはVカット工法)で取り除き、ポリマーセメントモルタル埋戻しによる充填工法に変更し補修すること。

図面番号	第 6 号	図面総数	全 17 葉
工事名称	文化橋橋梁補修工事		
図名	下部工補修詳細図(その1)		
製作年月	令和4年6月	所属年度	令和4年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

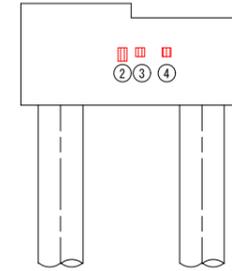
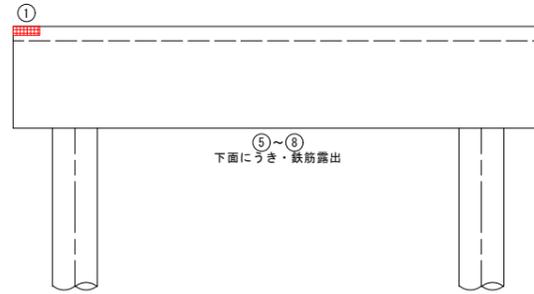
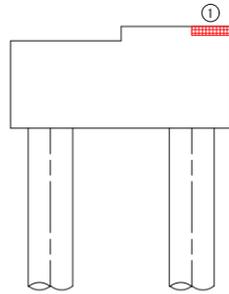
# 下部工補修詳細図(その2) S=1:80

## 第1径間

下流

P1橋脚  
起点側

上流



上流

P1橋脚  
終点側

下流



ひびわれ延長(充填工)

部材	No.	種別	幅 W 【mm】	延長 L 【mm】
橋脚[梁部]0102	9	遊離石灰	0.2	350

断面修復面積(左官工法)

部材	No.	種別	幅 W 【mm】	延長 L 【mm】	深さ t 【mm】	面積 A 【m2】	体積 V 【m3】
橋脚[梁部]0102	1	うき	400	550	50	0.2200	0.0110
橋脚[梁部]0102	2	鉄筋露出	100	150	50	0.0150	0.0008
橋脚[梁部]0102	3	鉄筋露出	100	100	50	0.0100	0.0005
橋脚[梁部]0102	4	鉄筋露出	100	100	50	0.0100	0.0005
橋脚[梁部]0102	5	鉄筋露出	300	500	50	0.1500	0.0075
橋脚[梁部]0102	6	鉄筋露出	800	500	50	0.4000	0.0200
橋脚[梁部]0102	7	うき	300	600	50	0.1800	0.0090
橋脚[梁部]0102	8	うき	1,100	900	50	0.9900	0.0495

(補修工法一覧表)

損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	-
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注入工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・豆板	断面修復工

凡例	例
ひびわれ	
うき	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
豆板・空洞	
漏水・滞水	

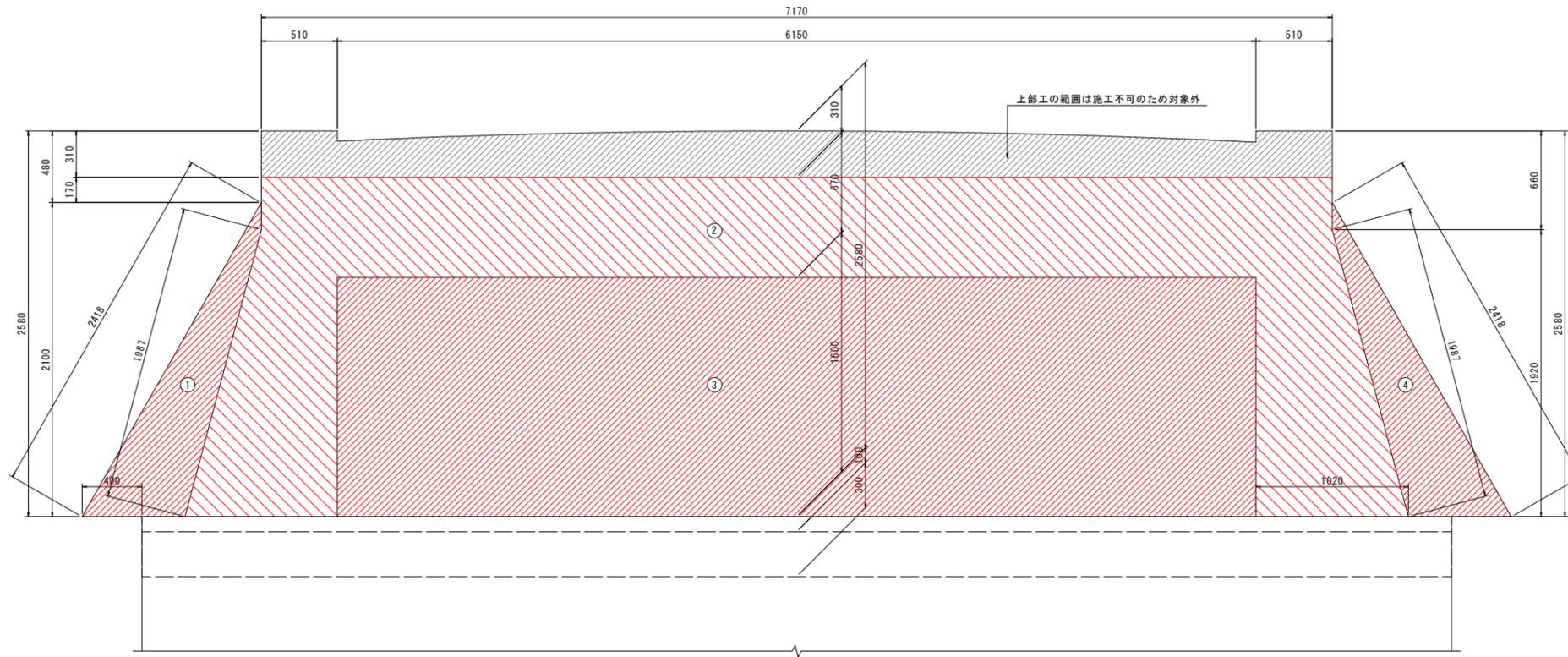
注) 足場架設後に現地実測の上、数量を確定すること。  
 注) 基本的に0.2mm以上のひび割れを補修対象とする。  
 注) 遊離石灰を伴う箇所は、要調査の上で補修すること。  
 剥離石灰により、注入が困難な場合はUカット工法(もしくはVカット工法)で取り除き、ポリマーセメントモルタル埋戻しによる充填工法に変更し補修すること。

図面番号	第 7 号	図面総数	全 17 葉
工事名称	文化橋橋梁補修工事		
図名	下部工補修詳細図(その2)		
製作年月	令和4年6月	所属年度	令和4年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

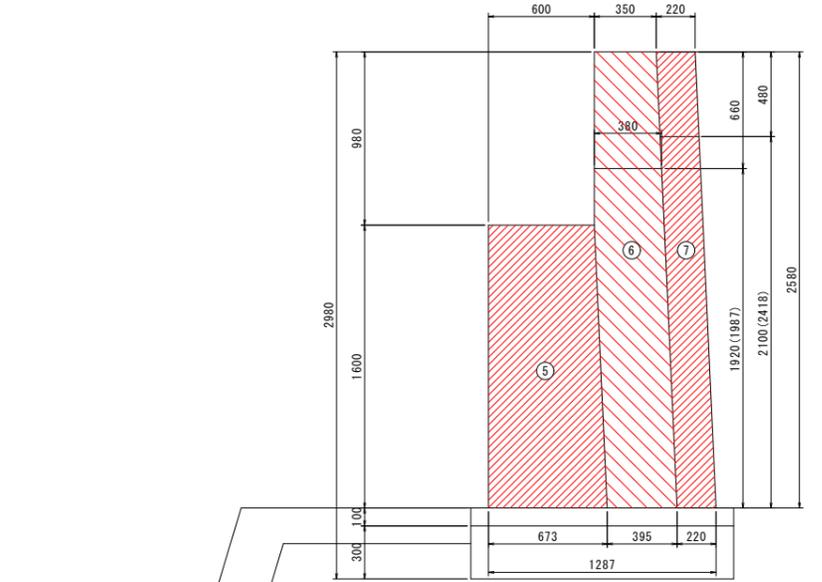
# 下部工補修詳細図(その3) S=1:40

表面含浸工(A1橋台)

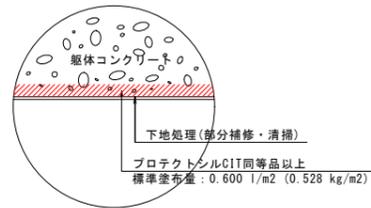
正面図



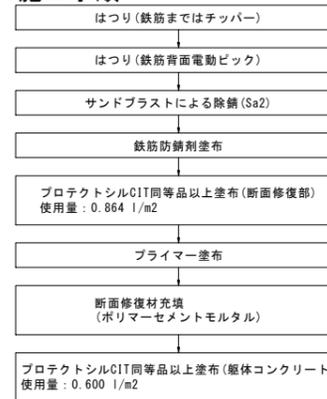
側面図



表面含浸工詳細図



## 施工手順



注) 鉄筋腐食抑制効果が認められる材料を使用すること。

表面含浸補修工

箇所	算出根拠	単位	数量
斜線部①	斜線範囲の面積より算出	m <sup>2</sup>	0.77
斜線部②	斜線範囲の面積より算出	m <sup>2</sup>	7.42
斜線部③	斜線範囲の面積より算出	m <sup>2</sup>	9.84
斜線部④	斜線範囲の面積より算出	m <sup>2</sup>	0.77
斜線部⑤	斜線範囲の面積より算出	m <sup>2</sup>	1.02
斜線部⑥	斜線範囲の面積より算出	m <sup>2</sup>	1.01
斜線部⑦	斜線範囲の面積より算出	m <sup>2</sup>	0.64
合計	①+②+③+④+⑤+⑥+⑦)x2	m <sup>2</sup>	24.14

補修工法一覧表

損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	-
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注入工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・豆板	断面修復工

凡例	例
ひびわれ	
うき	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
豆板・空洞	
漏水・滞水	

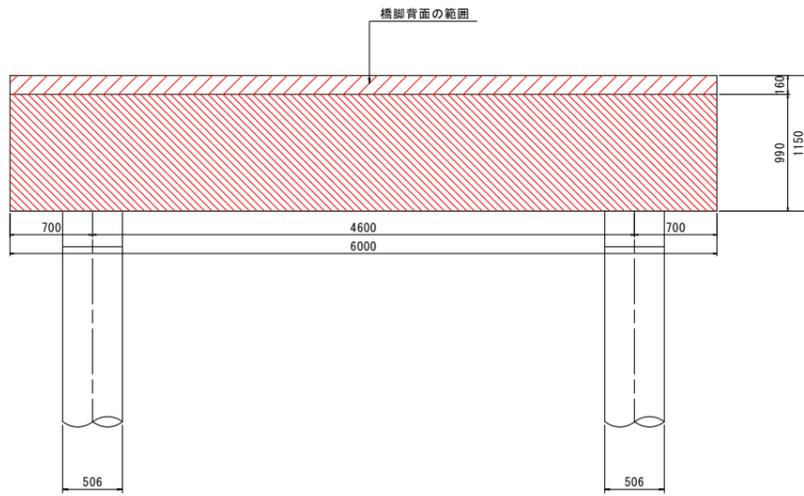
注) 足場架設後に現地実測の上、数量を確定すること。  
 注) 基本的に0.2mm以上のひび割れを補修対象とする。  
 注) 遊離石灰を伴う箇所は、要調査の上で補修すること。  
 遊離石灰により、注入が困難な場合はUカット工法(もしくはVカット工法)で取り除き、ポリマーセメントモルタル埋戻しによる充填工法に変更し補修すること。

図面番号	第 8 号	図面総数	全 17 葉
工事名称	文化橋橋梁補修工事		
図名	下部工補修詳細図(その3)		
製作年月	令和4年6月	所属年度	令和4年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

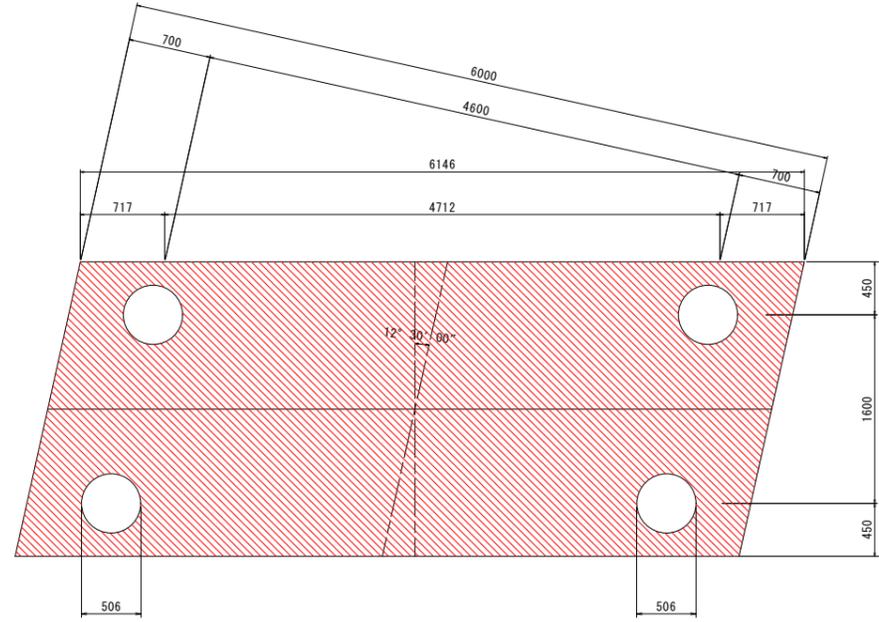
# 下部工補修詳細図(その4) S=1:60

表面含浸工(P1橋脚)

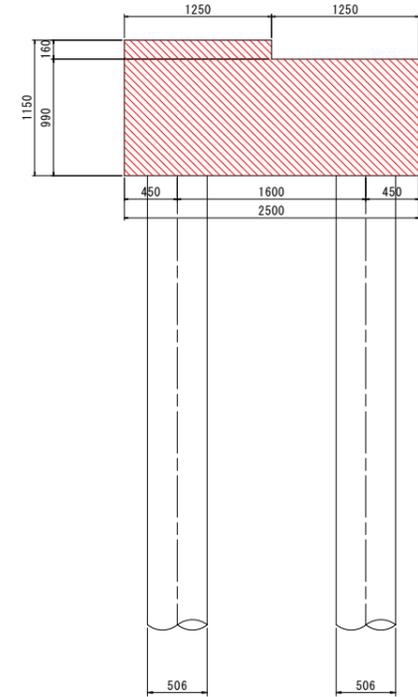
正面図



平面図



側面図



表面含浸補修工(1橋脚あたり)

箇所	算式	単位	数量
正面	6.000x0.990	m <sup>2</sup>	5.94
背面	6.000x1.150	m <sup>2</sup>	6.90
側面	(1.250x1.150+1.250x0.990)x2	m <sup>2</sup>	5.35
小計(周面)	5.94+6.90+5.35	m <sup>2</sup>	18.19
杭底面積			
1本あたり	0.506x0.506x3.14/4	m <sup>2</sup>	0.20
下面			
杭底面積4箇所控除	(2.500x6.146)-0.20x4	m <sup>2</sup>	14.57
合計	18.19+14.57	m <sup>2</sup>	32.76

《補修工法一覧表》

損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	-
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注入工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・豆板	断面修復工

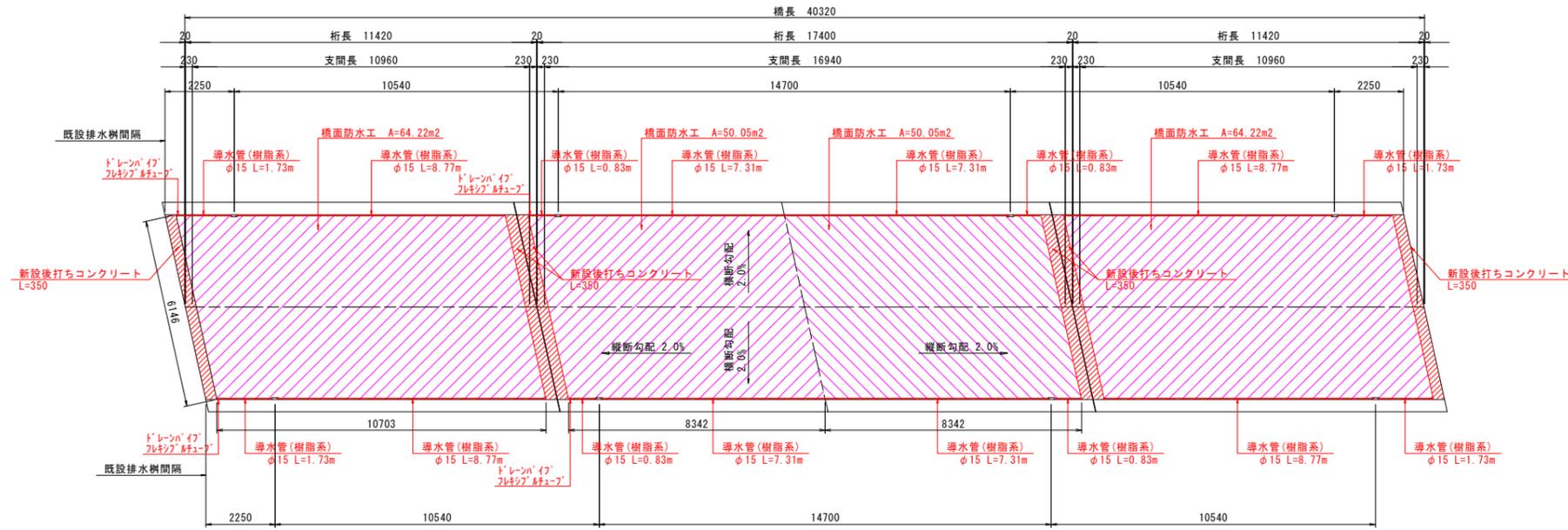
凡例	例
ひびわれ	
うき	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
豆板・空洞	
漏水・滲水	

注) 足場架設後に現地実測の上、数量を確定すること。  
 注) 基本的に0.2mm以上のひび割れを補修対象とする。  
 注) 遊離石灰を伴う箇所は、要調査の上で補修すること。  
 遊離石灰により、注入が困難な場合はUカット工法(もしくはVカット工法)で取り除き、ポリマーセメントモルタル埋戻しによる充填工法に変更し補修すること。

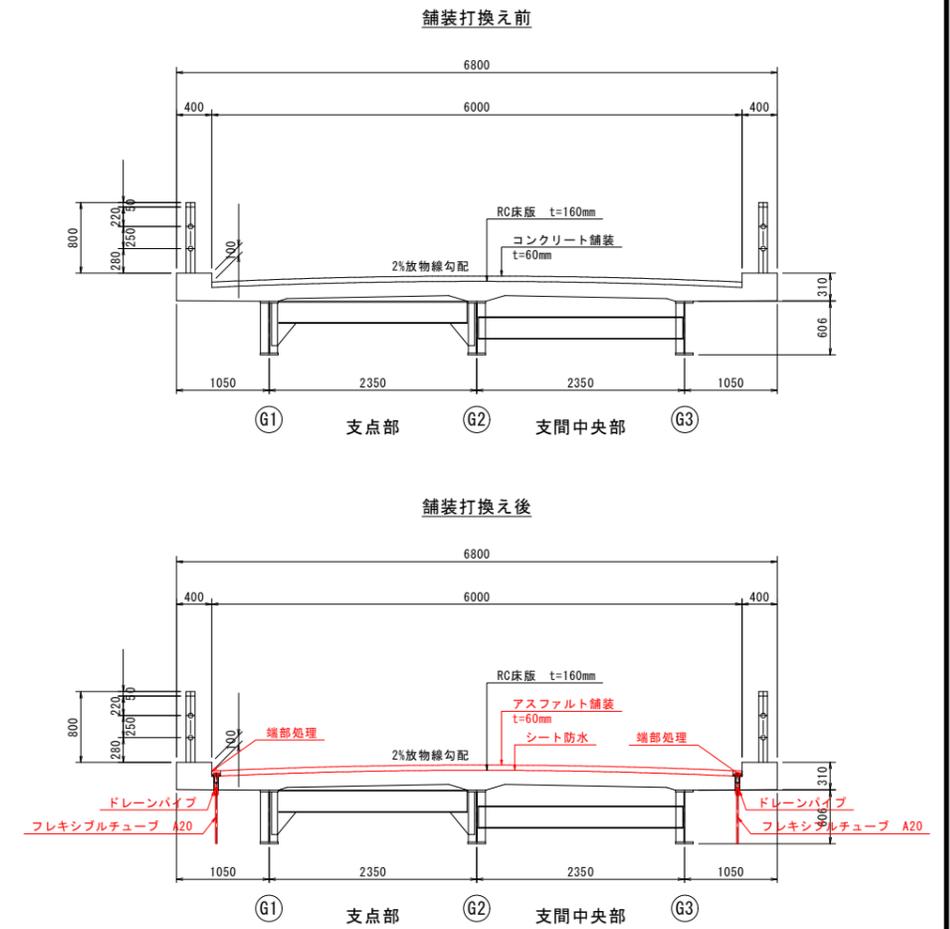
図面番号	第 9 号	図面総数	全 17 葉
工事名称	文化橋橋梁補修工事		
図名	下部工補修詳細図(その4)		
製作年月	令和4年6月	所属年度	令和4年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

# 橋面補修詳細図 S=1:200

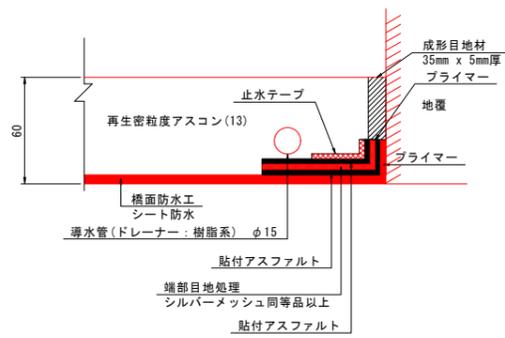
## 平面図



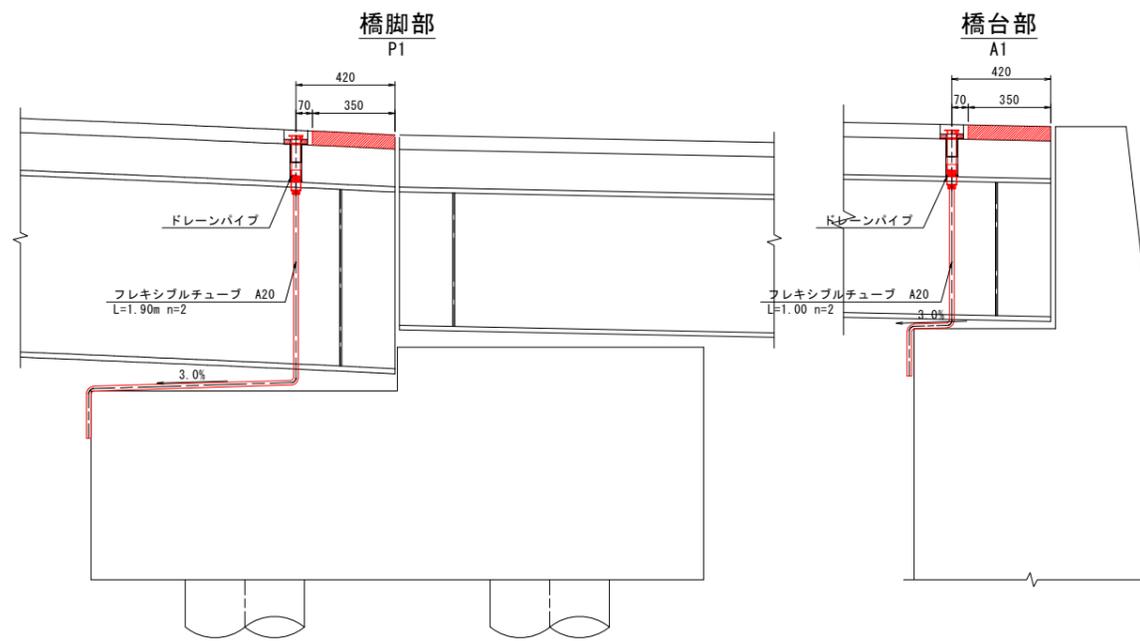
## 断面図 S=1:80



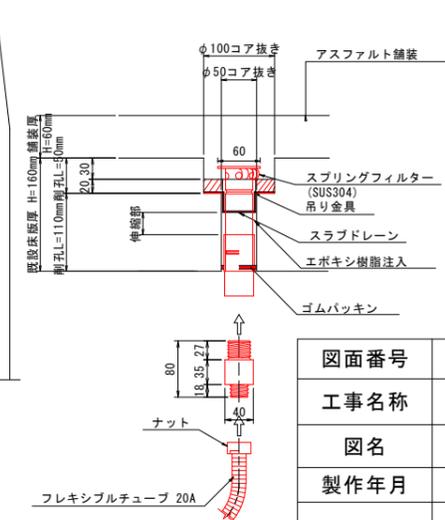
## 端部処理詳細図 S=1:4



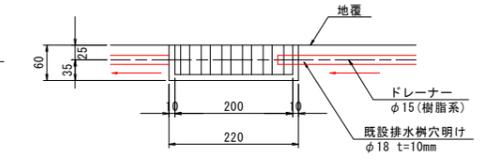
## 流末部詳細図 S=1:30



## 床版削孔詳細 S=1:10

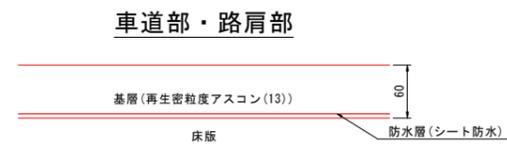


## 排水柵部 S=1:12



- 特記事項
1. 本図面は、既存資料を基に現地計測やスケールアップ等にて図化したものである。
  2. 数量は現地計測の後決定すること。

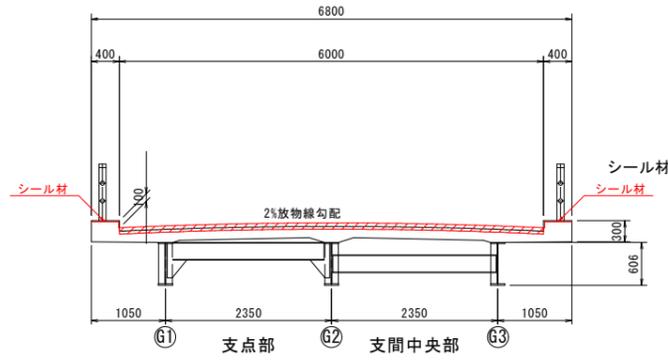
## 防水層構成断面図 S=1:8



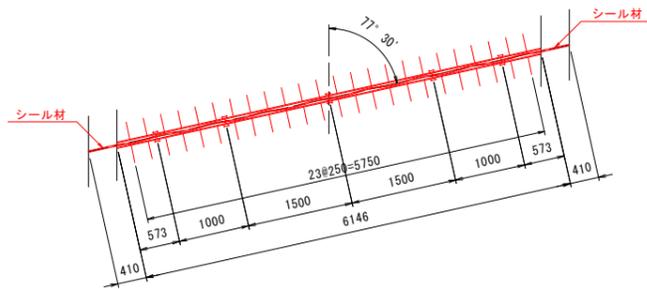
図面番号	第 10 号	図面総数	全 17 葉
工事名称	文化橋橋梁補修工事		
図名	橋面補修詳細図		
製作年月	令和 4 年 6 月	所属年度	令和 4 年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査

# 伸縮装置取替構造図 S=1:100

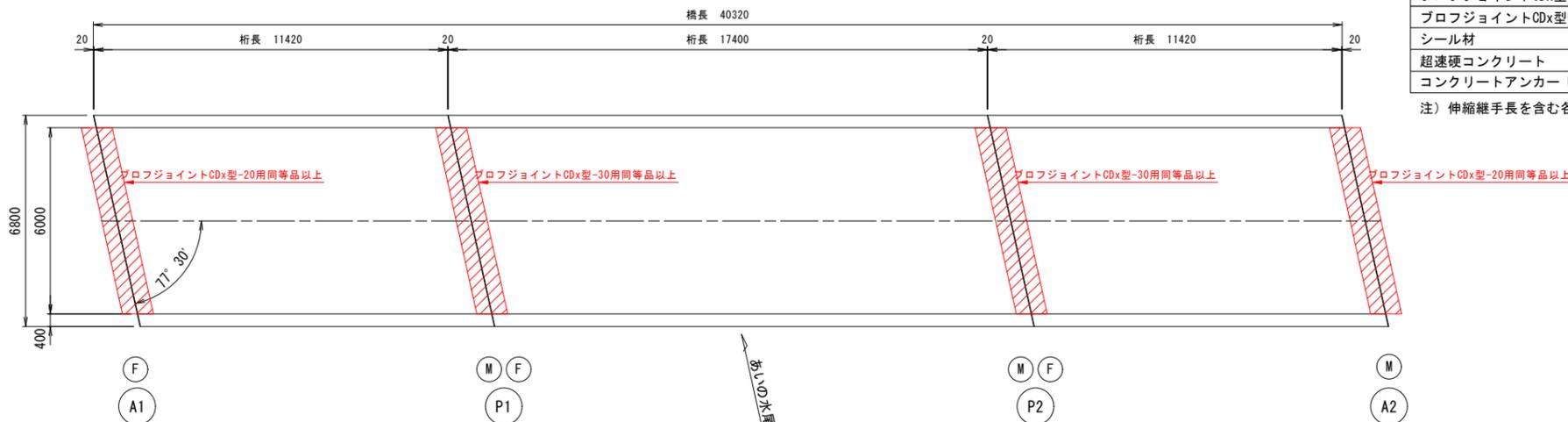
断面図



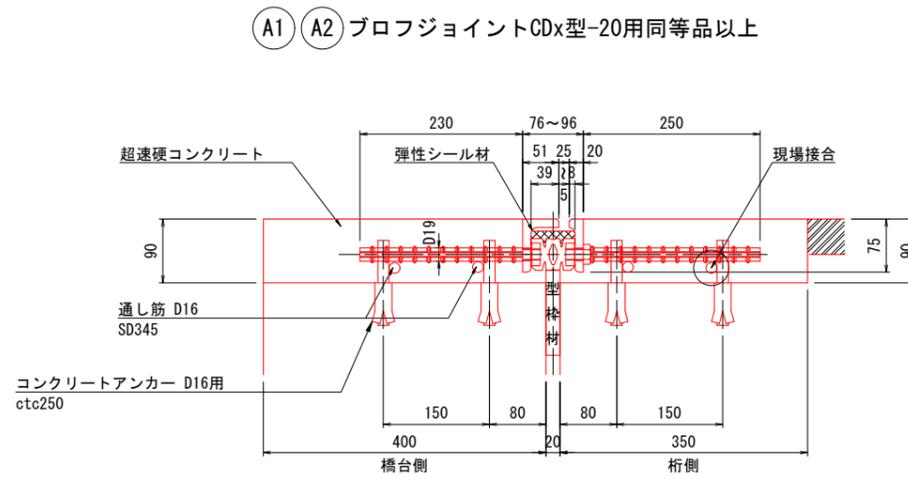
平面図



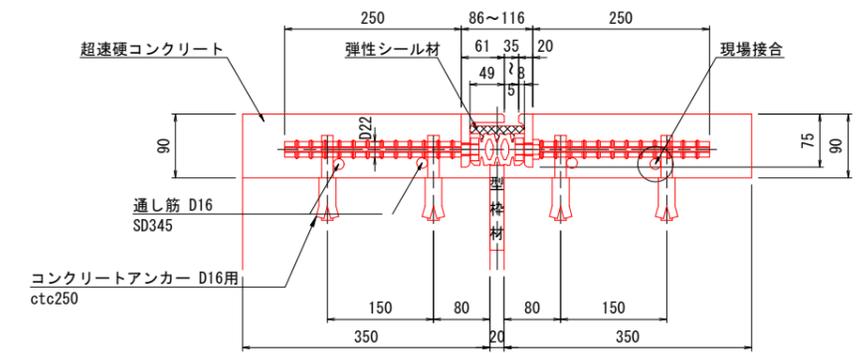
配置図 S=1:200



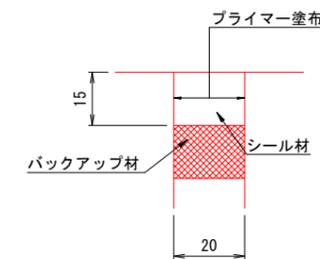
伸縮継手断面図 S=1:15



伸縮継手断面図 S=1:15



シール材充填図 S=1:2



伸縮継手材料表

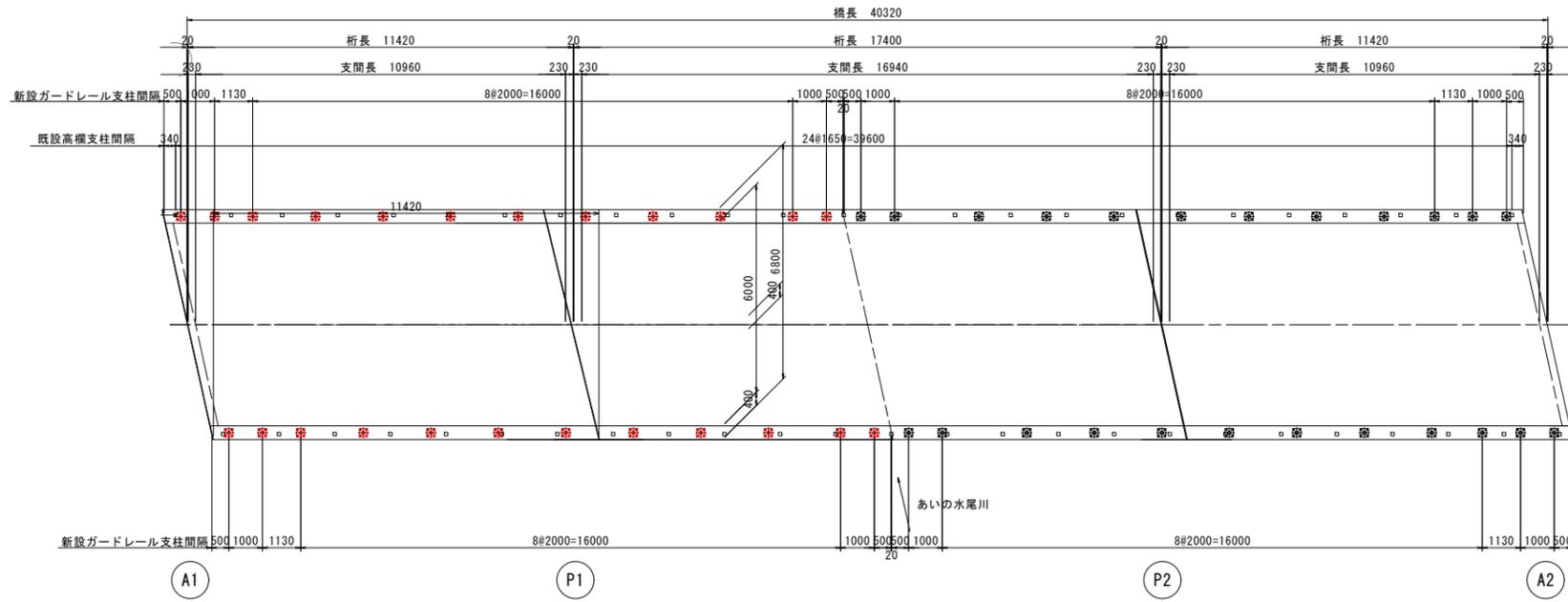
名称	材質	A1数量	P1数量	P2数量	A2数量	合計	備考
プロフジョイントCDx型-20用同等品以上	SS400 合成ゴム SD345 弾性シール材	6.146 m			6.146 m	12.292 m	車道用
プロフジョイントCDx型-30用同等品以上	"		6.146 m	6.146 m		12.292 m	車道用
シール材	シリコン系	0.31 リッター	0.31 リッター	0.31 リッター	0.31 リッター	1.24 リッター	地覆部
超速硬コンクリート		0.415 m <sup>3</sup>	0.387 m <sup>3</sup>	0.387 m <sup>3</sup>	0.415 m <sup>3</sup>	1.604 m <sup>3</sup>	
コンクリートアンカー D16用		96 本	96 本	96 本	96 本	384 本	

注) 伸縮継手長を含む各寸法および数量は現地測量後決定すること。

図面番号	第 11 号	図面総数	全 17 葉
工事名称	文化橋橋梁補修工事		
図名	伸縮装置取替構造図		
製作年月	令和 4 年 6 月	所属年度	令和 4 年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

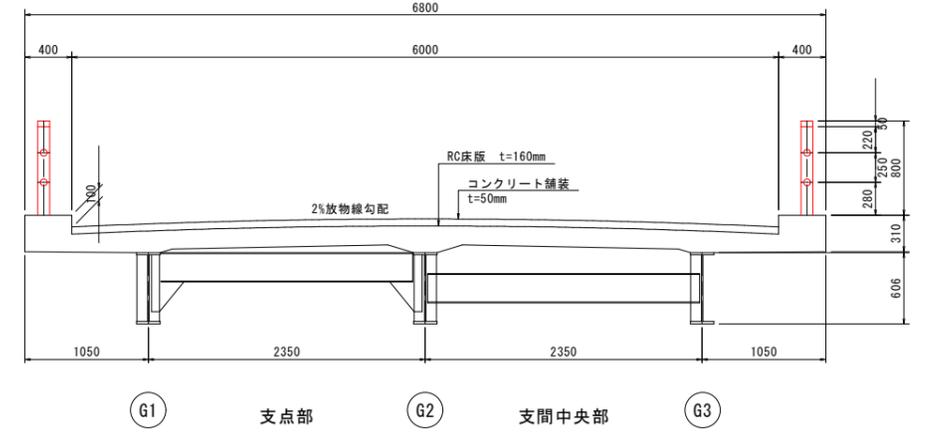
# 防護柵取替構造図(その1) S=1:60

平面図 S=1:200

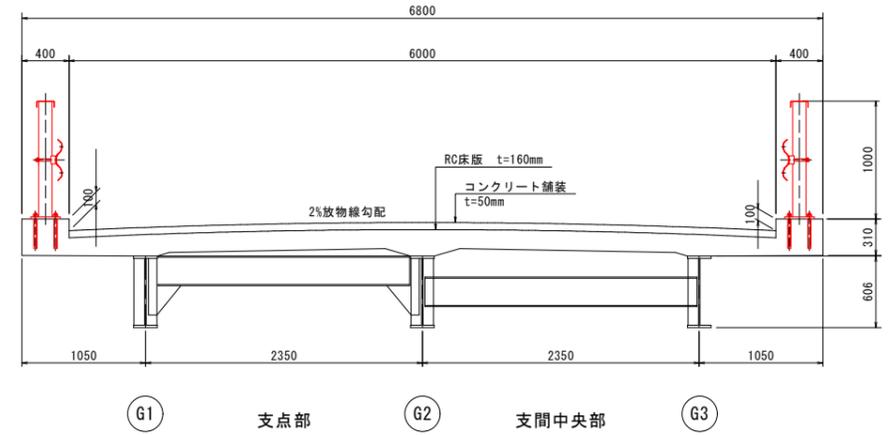


断面図 S=1:60

取替前

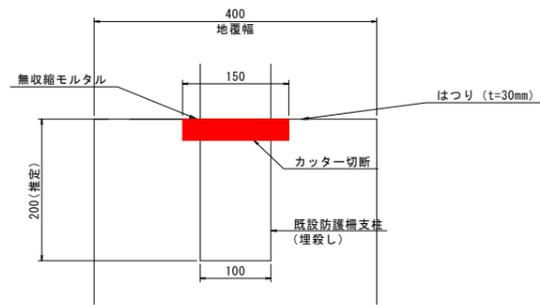


取替後

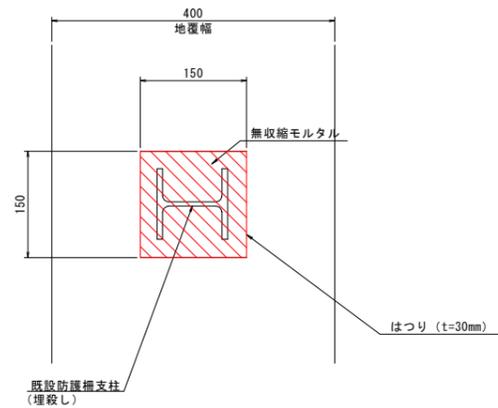


既設支柱部撤去詳細図 S=1:10

断面図



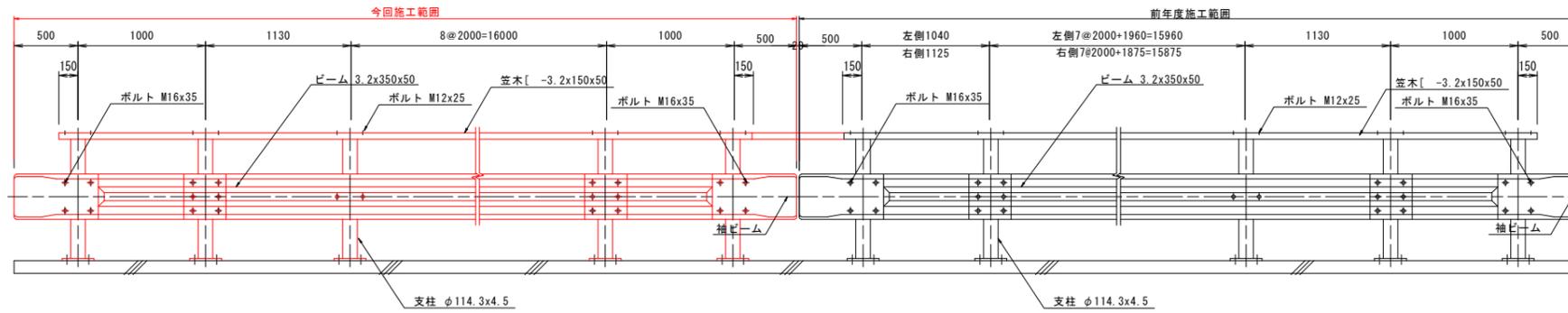
平面図



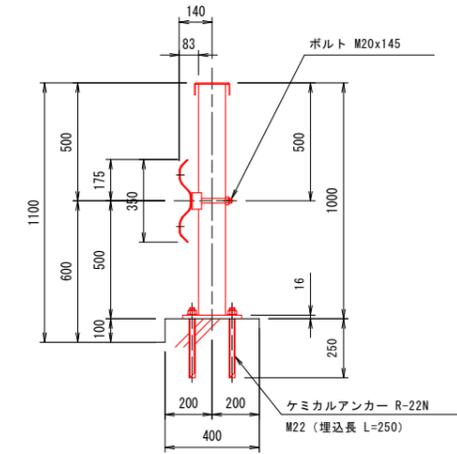
図面番号	第 12 号	図面総数	全 17 葉
工事名称	文化橋橋梁補修工事		
図名	防護柵取替構造図(その1)		
製作年月	令和4年6月	所属年度	令和4年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査

# 防護柵取替構造図(その2) S=1:50

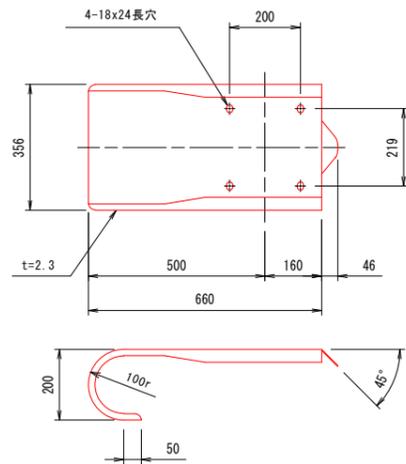
## 組立図



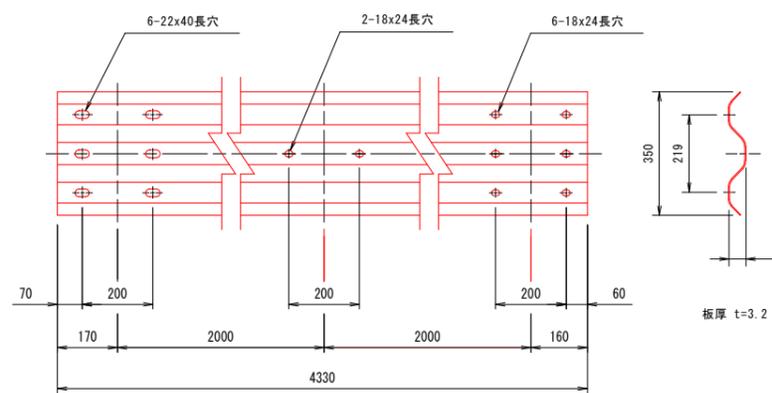
## 支柱 S=1:30



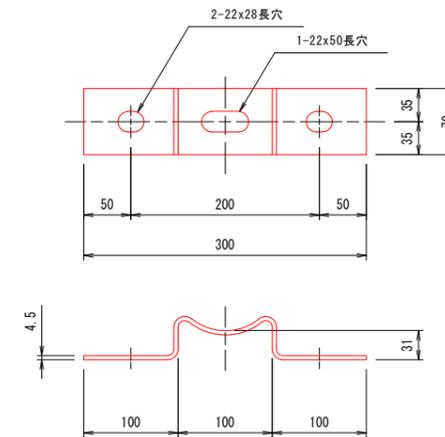
## 袖梁 S=1:30



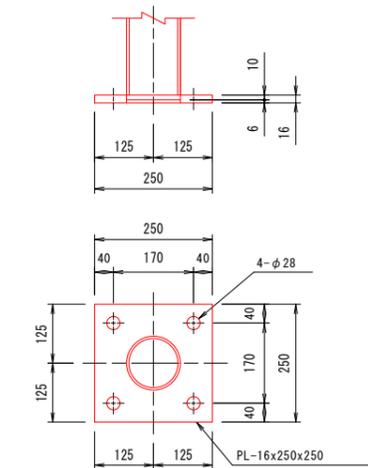
## 梁 S=1:30



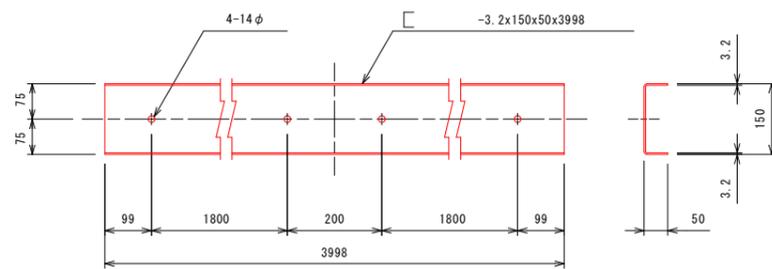
## ブラケット S=1:30



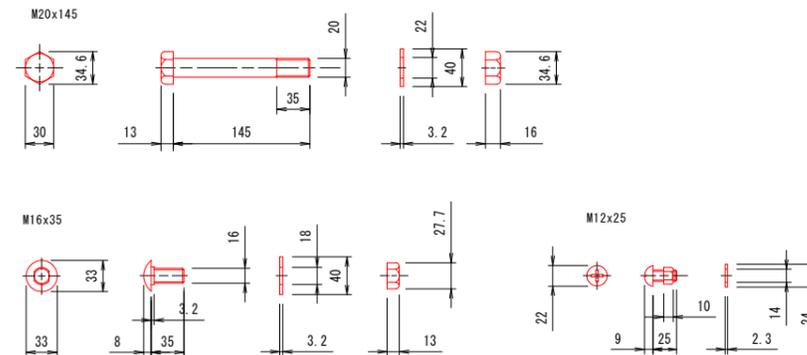
## ベースプレート詳細 S=1:30



## 挿木 S=1:30



## 取付ボルト S=1:30

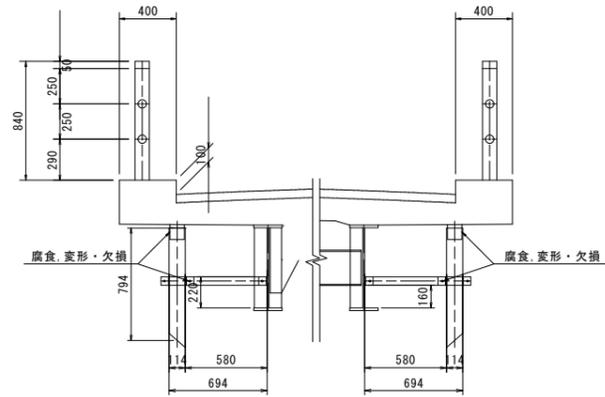


図面番号	第 13 号	図面総数	全 17 葉
工事名称	文化橋橋梁補修工事		
図名	防護柵取替構造図(その2)		
製作年月	令和4年6月	所属年度	令和4年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

# 排水装置取替詳細図 S=1:50

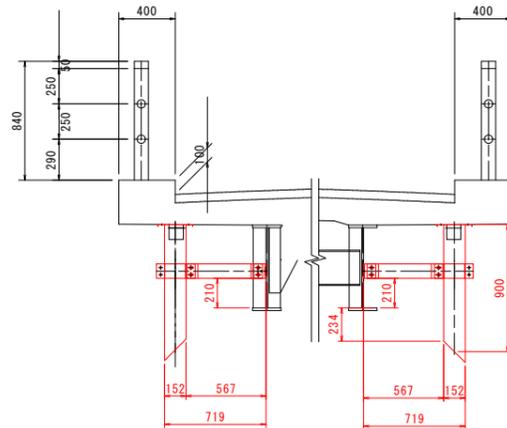
## 取付金具詳細図

断面図  
現況

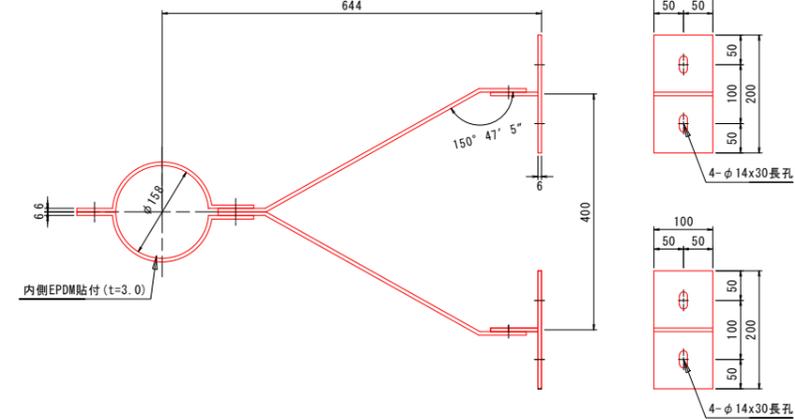


注) 1. 取付金具位置は、既設取付金具位置にバラツキがあるため  
現地計測の上、干渉しない位置に取り付けること。  
2. 排水管取替工は、予防保全も含め、全面所で計画している。

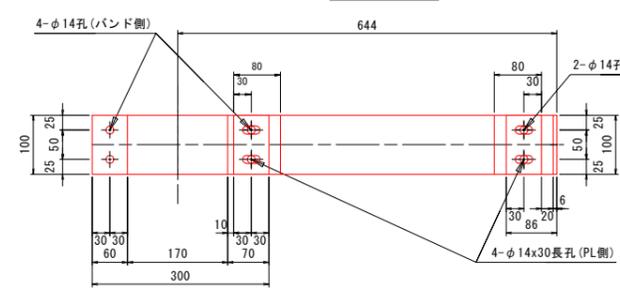
断面図  
取替後



平面図



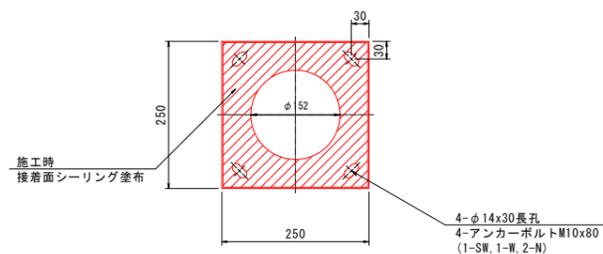
側面図



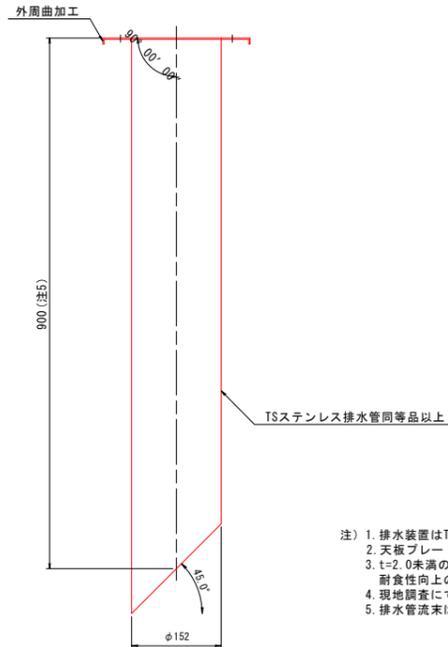
- 1箇所当たり(製作数・6)
- 2-PL 100x6x385 (SS400)
- 2-PL 100x6x575 (SS400)
- 2-PL 100x6x80 (SS400)
- 2-PL 100x6x200 (SS400)
- 8-BN M12x45 (SS400)
- 4-アンカーボルト M12x100 (SS400)
- 2-EPDM 100x3x230

## 排水管詳細図 S=1:12

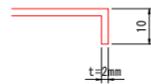
平面図



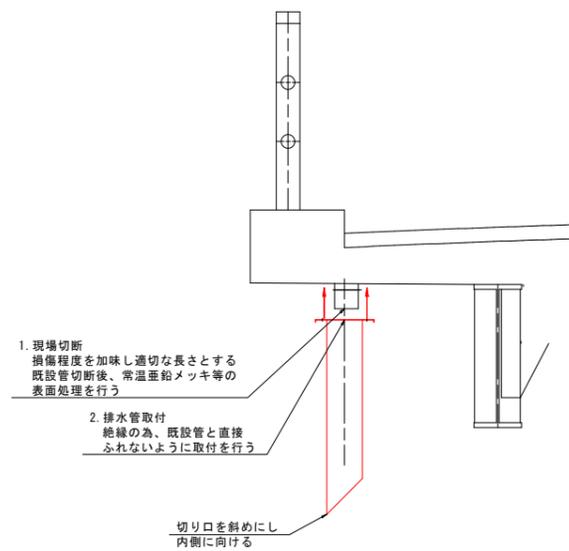
側面図



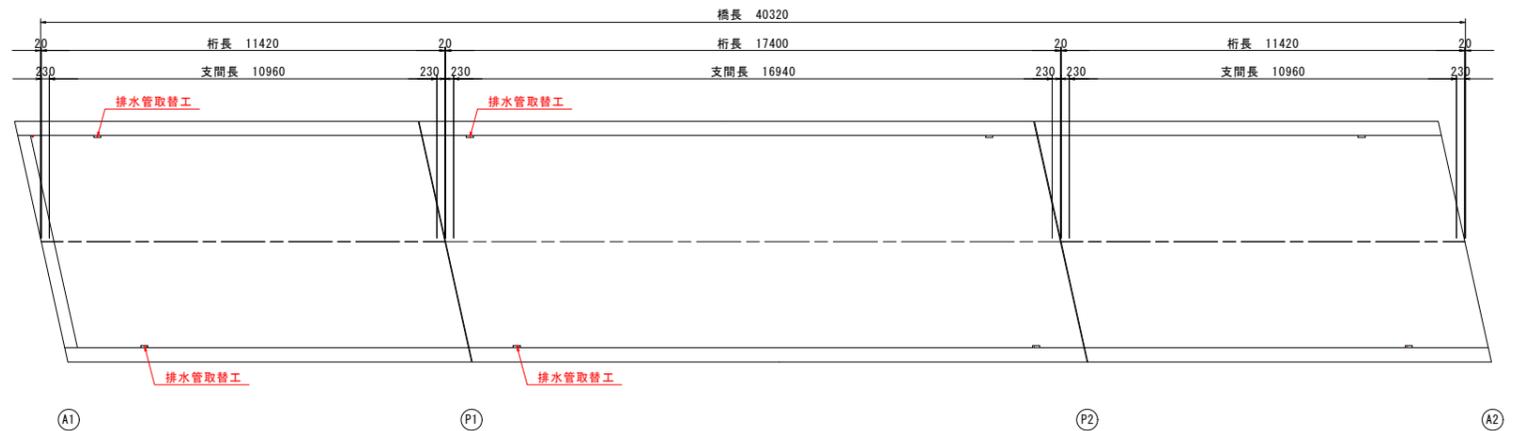
## 外周曲加工詳細図 S=1:2



## 排水管取付要領図



1. 現場切断  
損傷程度を加味し適切な長さとする  
既設管切断後、常温亜鉛メッキ等の  
表面処理を行う
2. 排水管取付  
絶縁の為、既設管と直接  
ふれないように取付を行う
3. 切り口を斜めにし  
内側に向ける

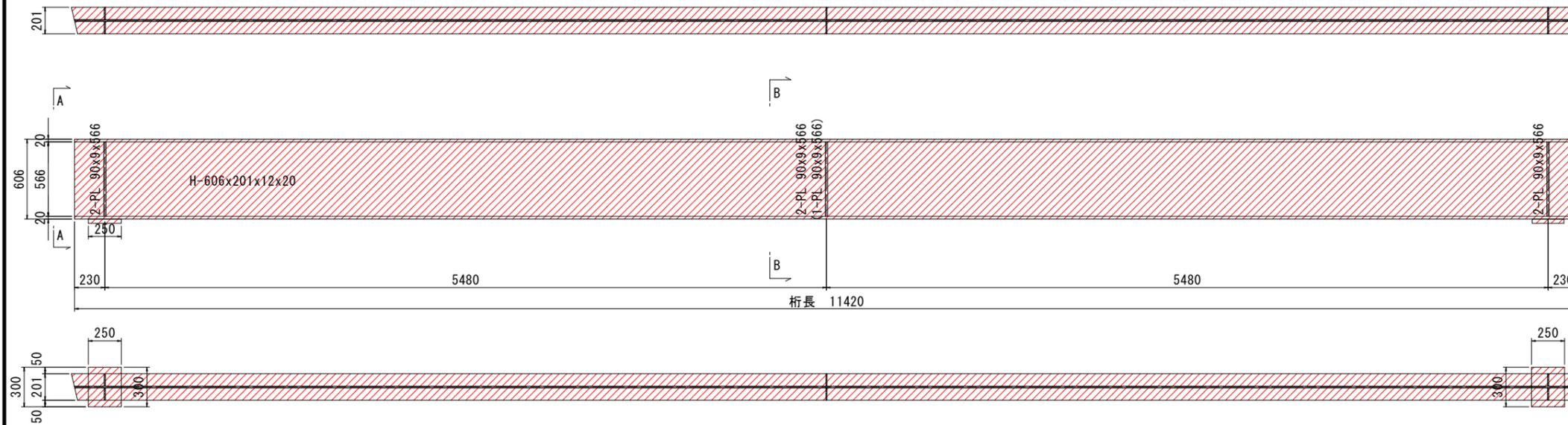


図面番号	第 14 号	図面総数	全 17 葉
工事名称	文化橋橋梁補修工事		
図名	排水装置取替詳細図		
製作年月	令和 4 年 6 月	所属年度	令和 4 年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査

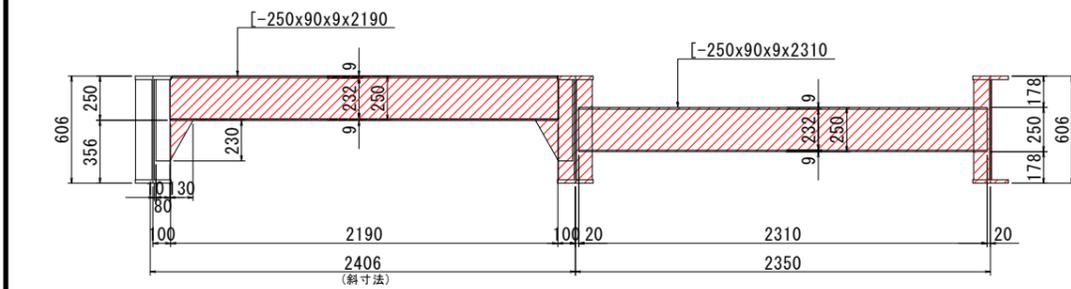
# 塗替塗装詳細図(その1) S=1:40

側径間

## 主桁詳細図

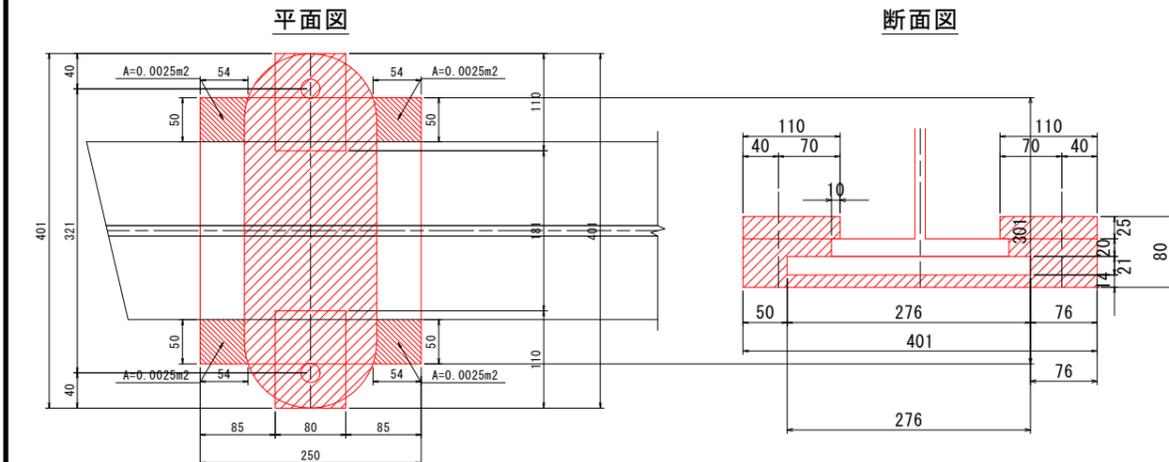


## 横桁詳細図

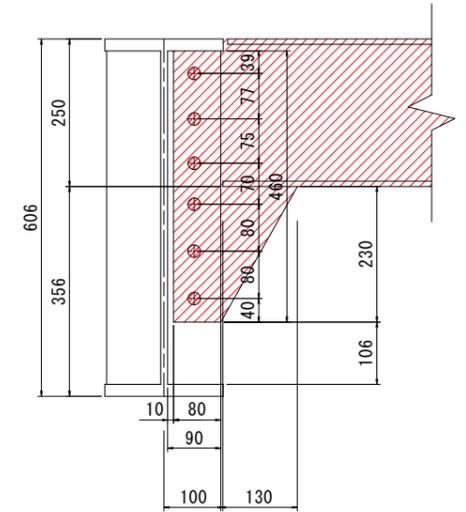


G1 支点部 G2 支間中央部 G3

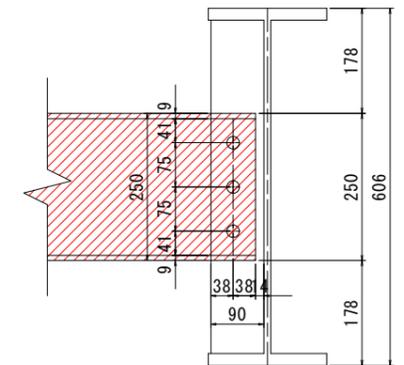
## 支承詳細図 S=1:8



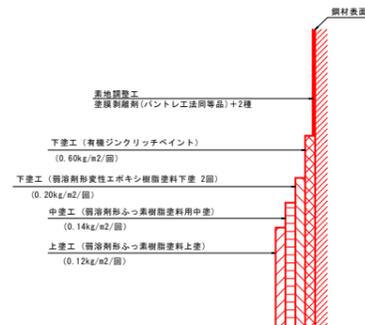
## A-A S=1:12



## B-B S=1:12



## 塗装塗替要領



仕様一覧		(Rc-II 塗装系)	
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装間隔
素地調整	塗替剥離剤(パンドレエ法同等品以上)+2種		4時間以内
下塗	有機ジンクリッチペイント	600	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1日~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1日~10日

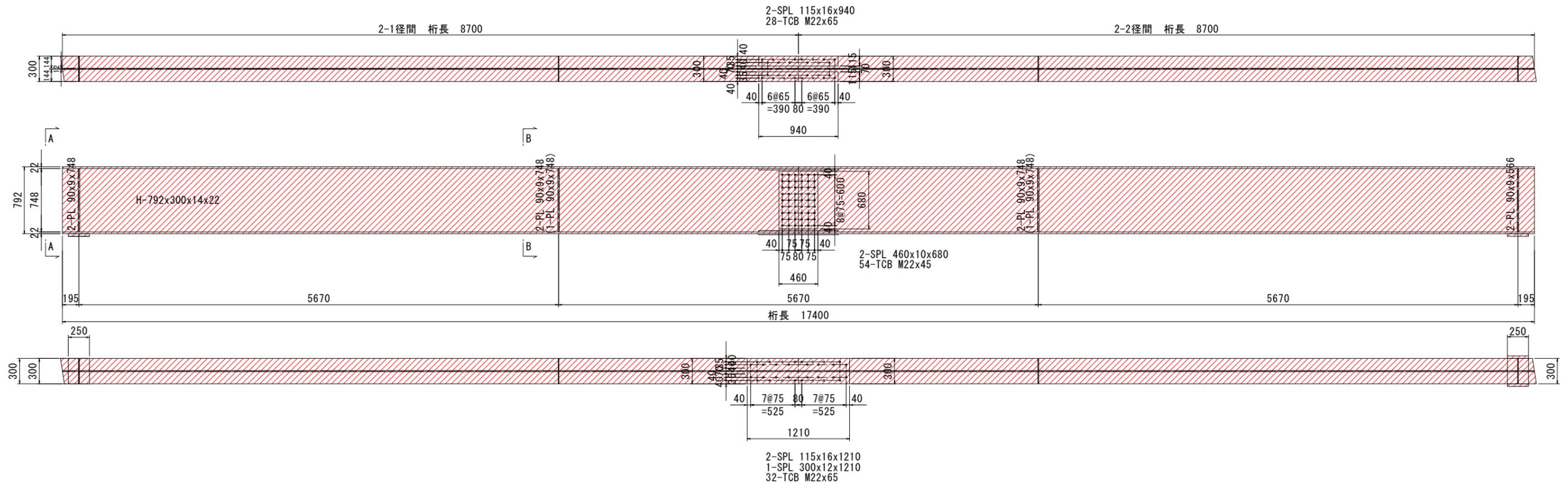
使用量( )内は、鋼材露出部のみ有機ジンクリッチペイントを塗布する。

図面番号	第 15 号	図面総数	全 17 葉
工事名称	文化橋橋梁補修工事		
図名	塗替塗装詳細図(その1)		
製作年月	令和4年6月	所属年度	令和4年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査

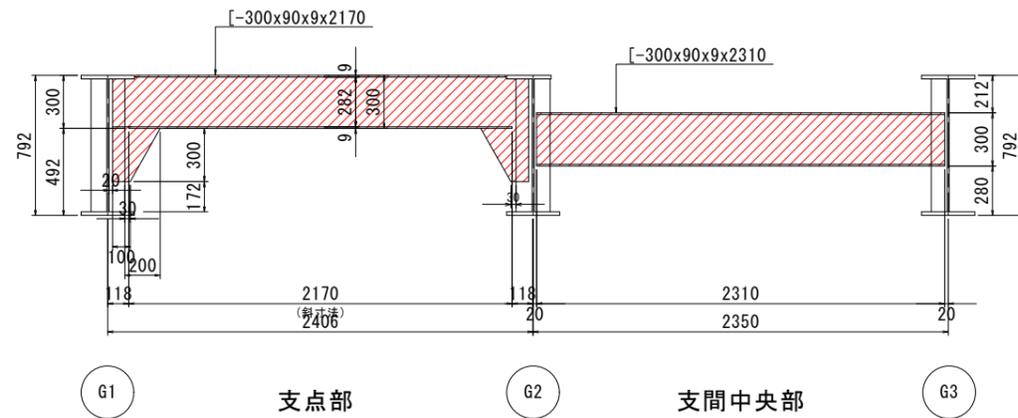
鳴門市 都市建設部 土木課

# 塗替塗装詳細図(その2) S=1:50

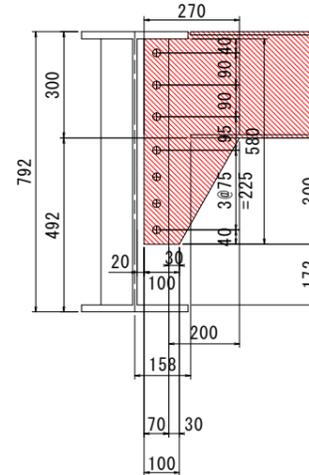
## 中央径間



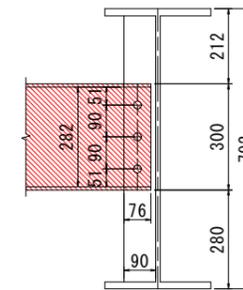
## 横桁詳細図



### A-A S=1:20



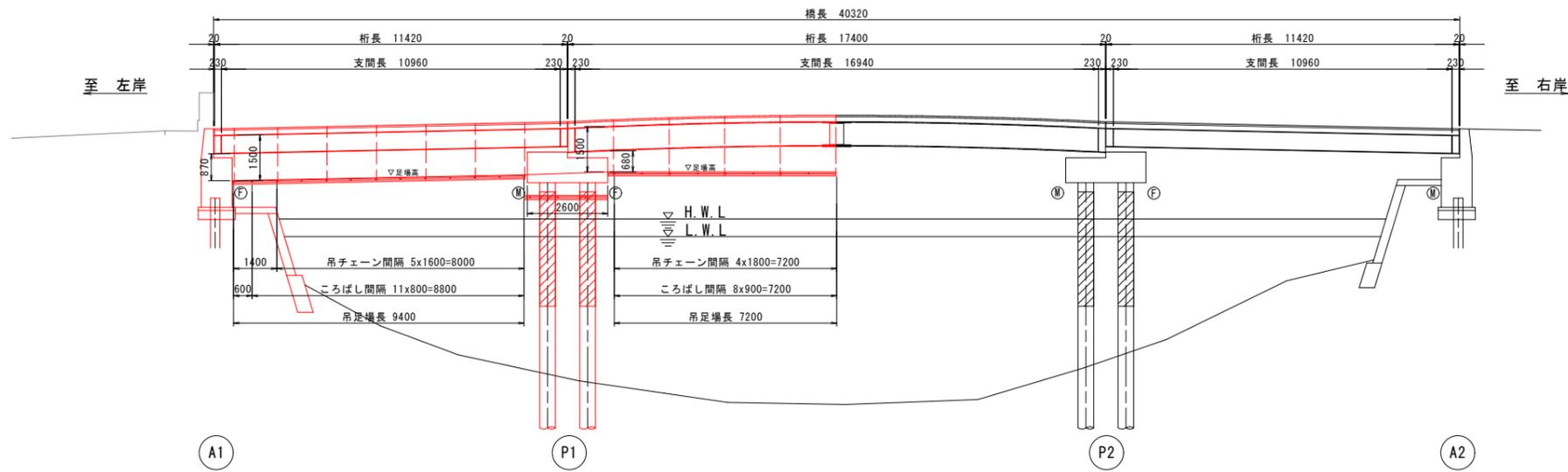
### B-B S=1:20



図面番号	第 16 号	図面総数	全 17 葉
工事名称	文化橋橋梁補修工事		
図名	塗替塗装詳細図(その2)		
製作年月	令和4年6月	所属年度	令和4年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査

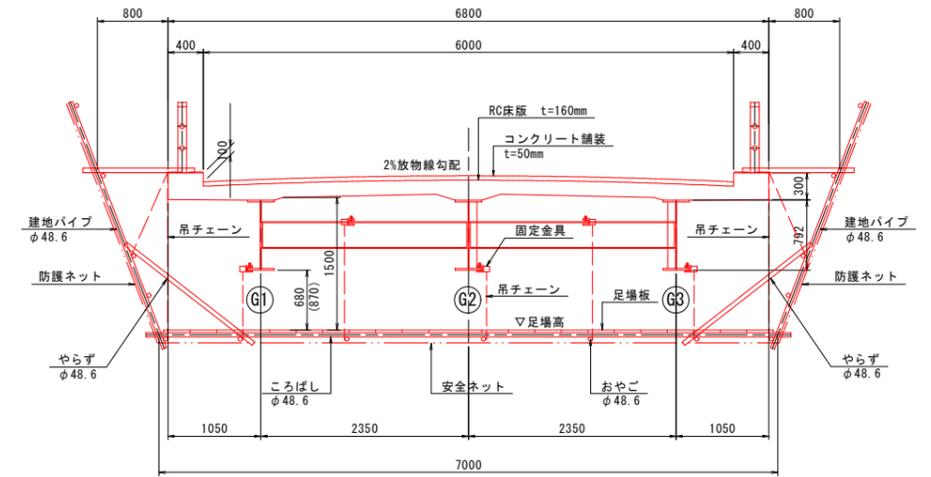
# 施工要領図 S=1:200

## 側面図



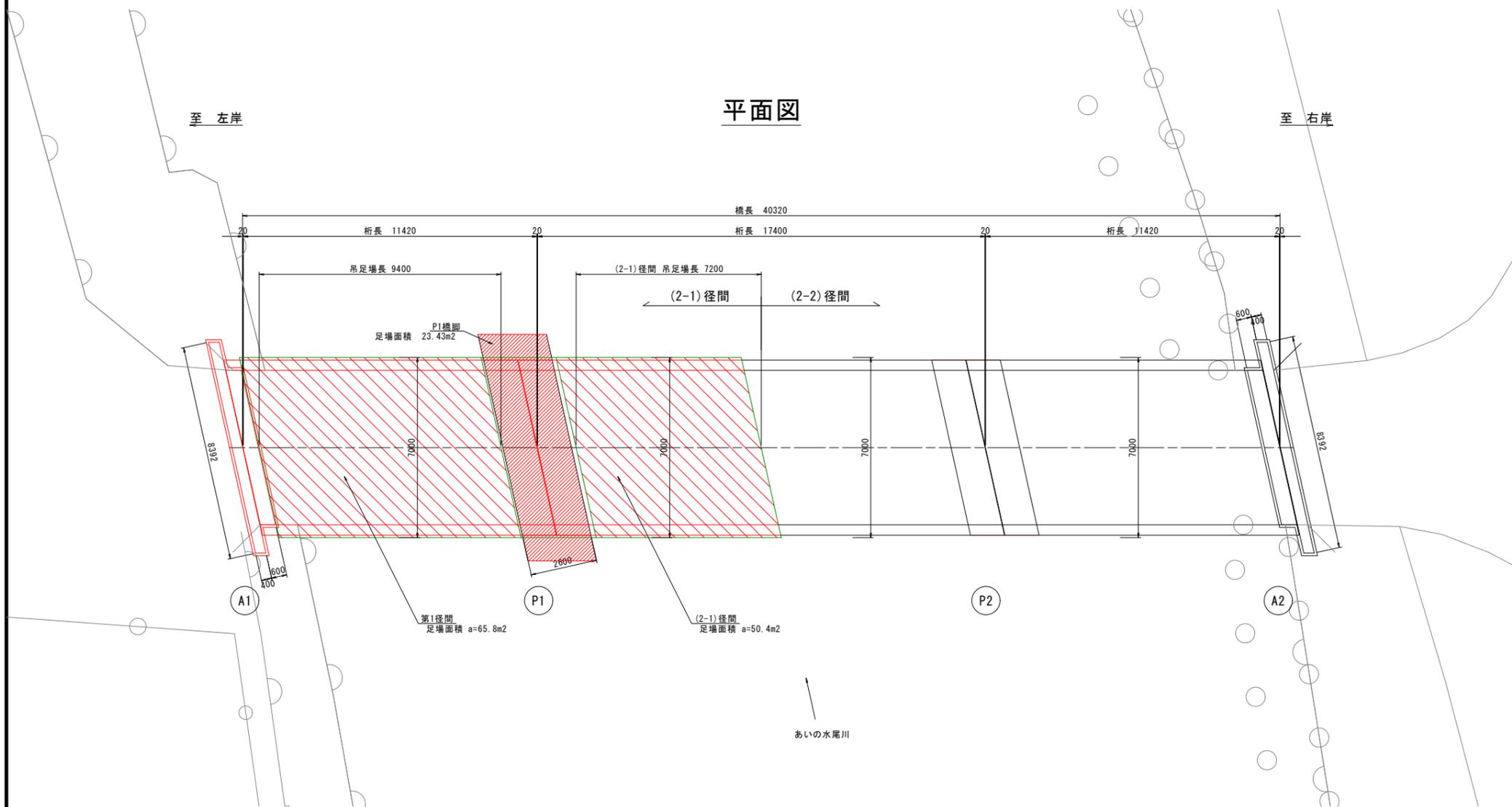
## 断面図 S=1:80

### 中央径間



注：( )の桁下高数値は側径間を示す。

## 平面図



図面番号	第 17 号	図面総数	全 17 葉
工事名称	文化橋橋梁補修工事		
図名	施工要領図		
製作年月	令和 4 年 6 月	所属年度	令和 4 年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査

鳴門市 都市建設部 土木課